
今 治 市

子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査

調査報告書（速報版）

令和6年8月

今治市 こども未来部 ネウボラ政策課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果（小学生児童）	2
あて名のお子さんご家族の状況	2
子どもの育ちをめぐる環境	5
保護者の就労状況	9
病気の際の対応	20
放課後の過ごし方	26
地域の子育て支援事業の利用状況	35
育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度	38
子育て全般	46
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	49
行政への要望	54

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6年度に策定する「今治市こども計画」の基礎資料として、市内にお住まいの小学生のお子さんがおられるご家庭を対象として、子育ての実情やニーズをお伺いすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2 調査概要

- ・調査地域：今治市全域

◎小学生児童のいる世帯

- ・調査対象者：今治市内の小学校に通う子どものいる世帯
- ・抽出方法：調査対象者の中から無作為抽出
- ・調査時期：令和6年6月21日～7月16日
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収による郵送調査法

調査対象世帯数 (配布数)	有効回収世帯数	有効回収率
1,000件	430件	43.0%

3 報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文章、グラフ及び表においても反映しています。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

Ⅱ 調査結果（小学生児童）

あて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

問1 お住まいの小学校区はどこですか。（〇は1つ）

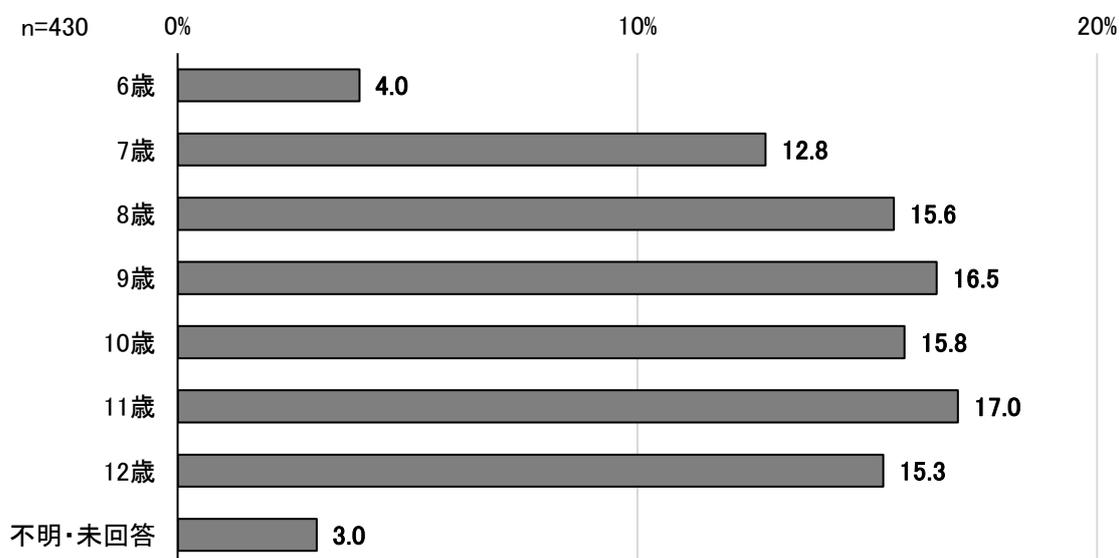
小学校区別に世帯の居住について聞いています。陸地部の合計は92.3%、島しょ部の合計は7.7%となっています。

陸地部 92.3%

島しょ部 7.7%

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

対象の子どもの年齢は、上位から「11歳」17.0%、「9歳」16.5%、「10歳」15.3%となっています。10歳未満は48.9%、10歳以上は48.1%となっています。

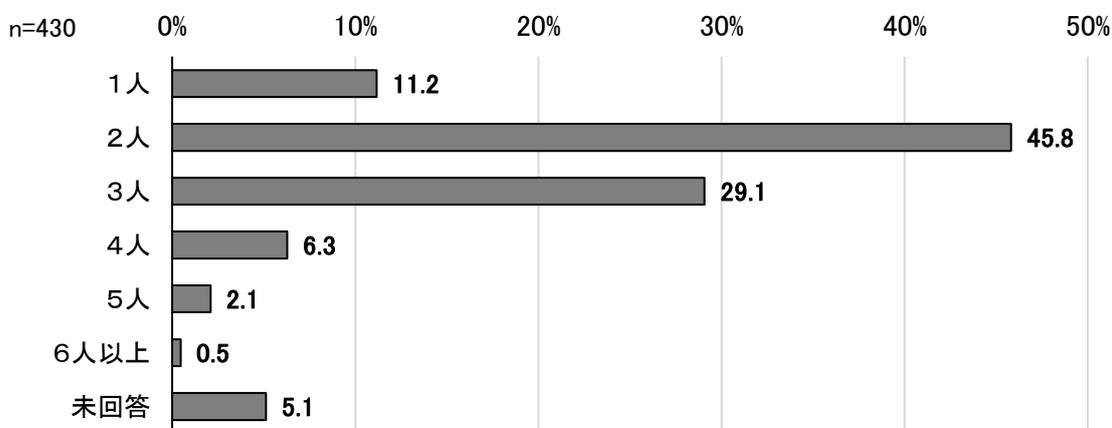


問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

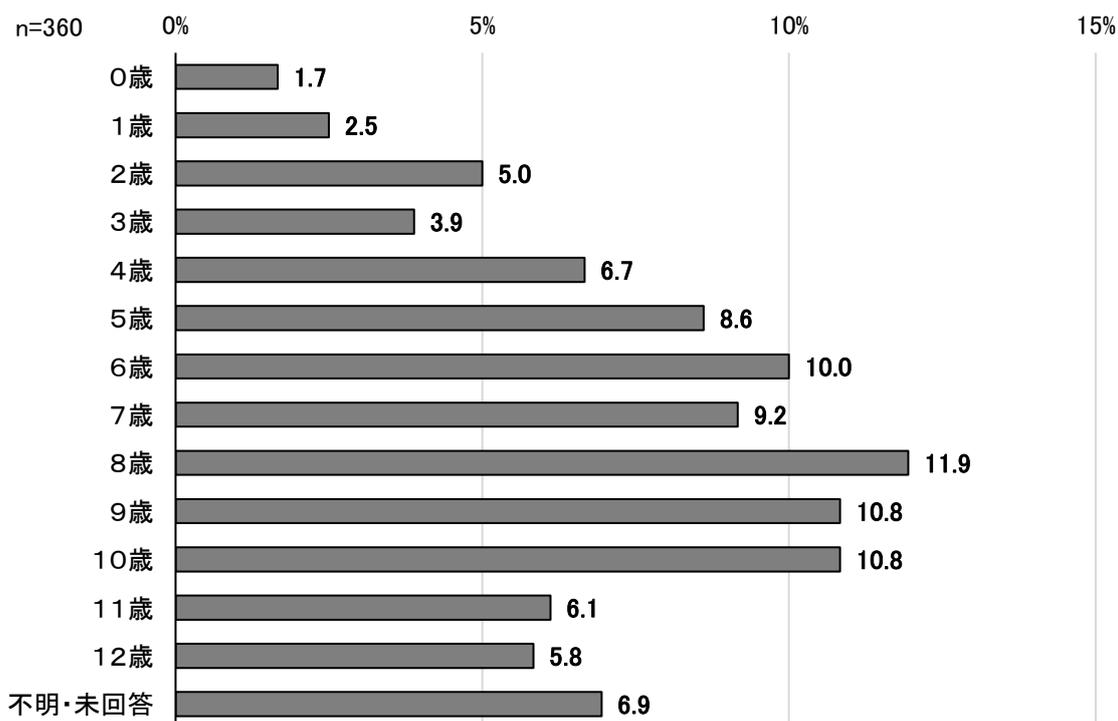
子どもの人数は、上位から「2人」45.8%、「3人」29.1%、「1人」11.2%となっています。

子どもが二人以上いる場合の末子の年齢は、上位から「8歳」11.9%、「9歳」10.8%、「10歳」10.8%となっており、6歳未満は28.4%、6歳以上は64.6%となっています。

①子どもの人数

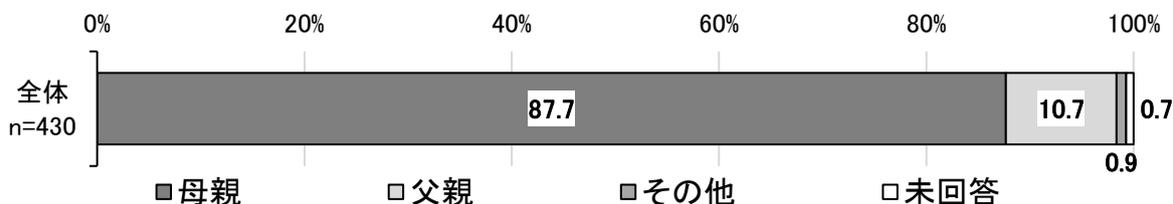


②子どもが二人以上の場合の末子の年齢



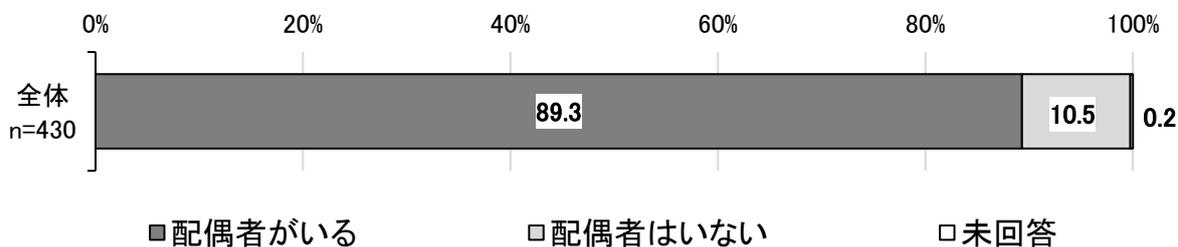
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

回答者は、「母親」87.7%と8割を超えています。「父親」は10.7%となっています。



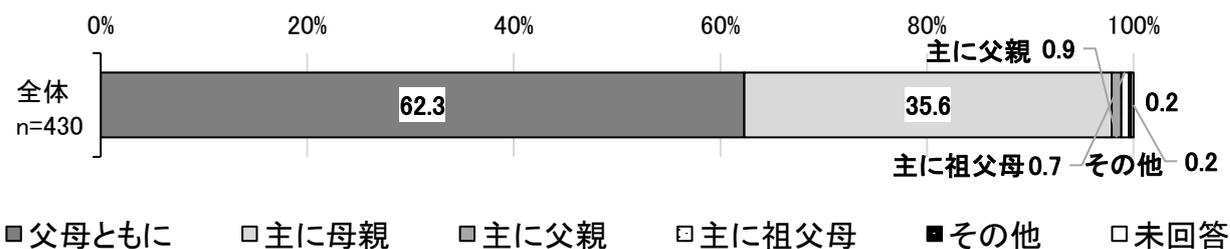
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」の割合が89.3%となっており、「配偶者はいない」は10.5%となっています。



問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」の割合が62.3%、次いで「主に母親」35.6%となっています。

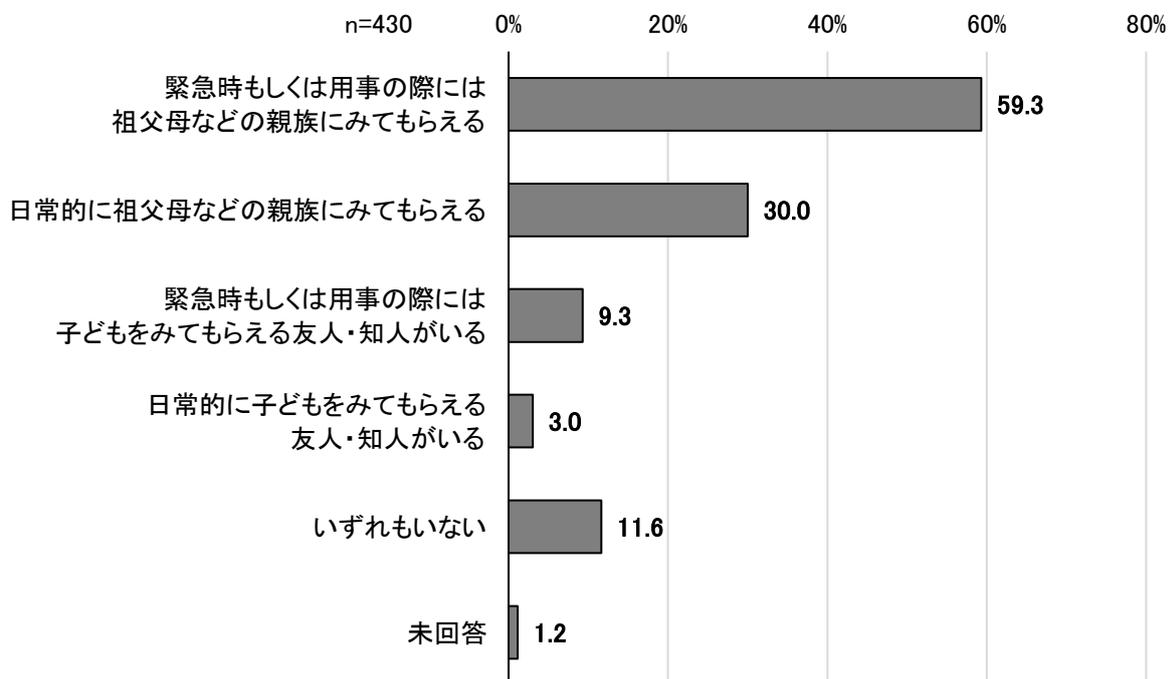


子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が59.3%、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」30.0%となっています。

一方、「いずれもない」は11.6%となっています。

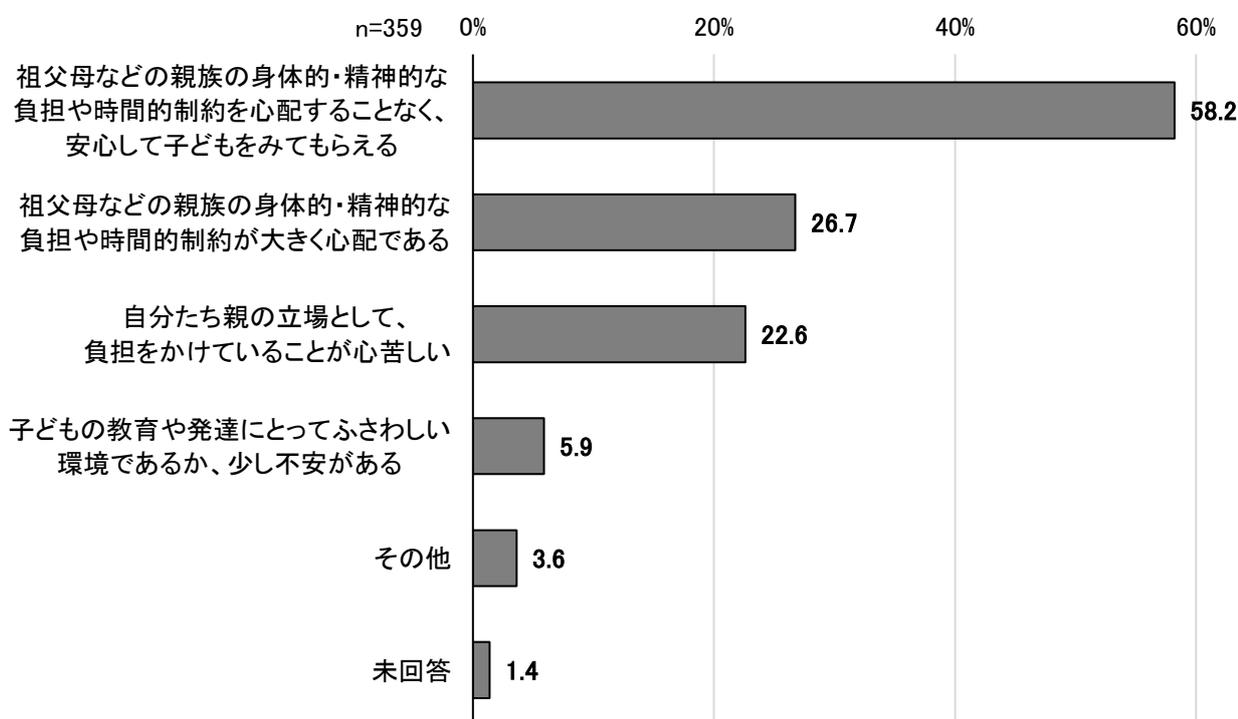


問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(〇はいくつでも)

※問7で「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」と答えた方

祖父母などの親族にみてもらっている状況は、上位から「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が58.2%、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」26.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」22.6%となっています。

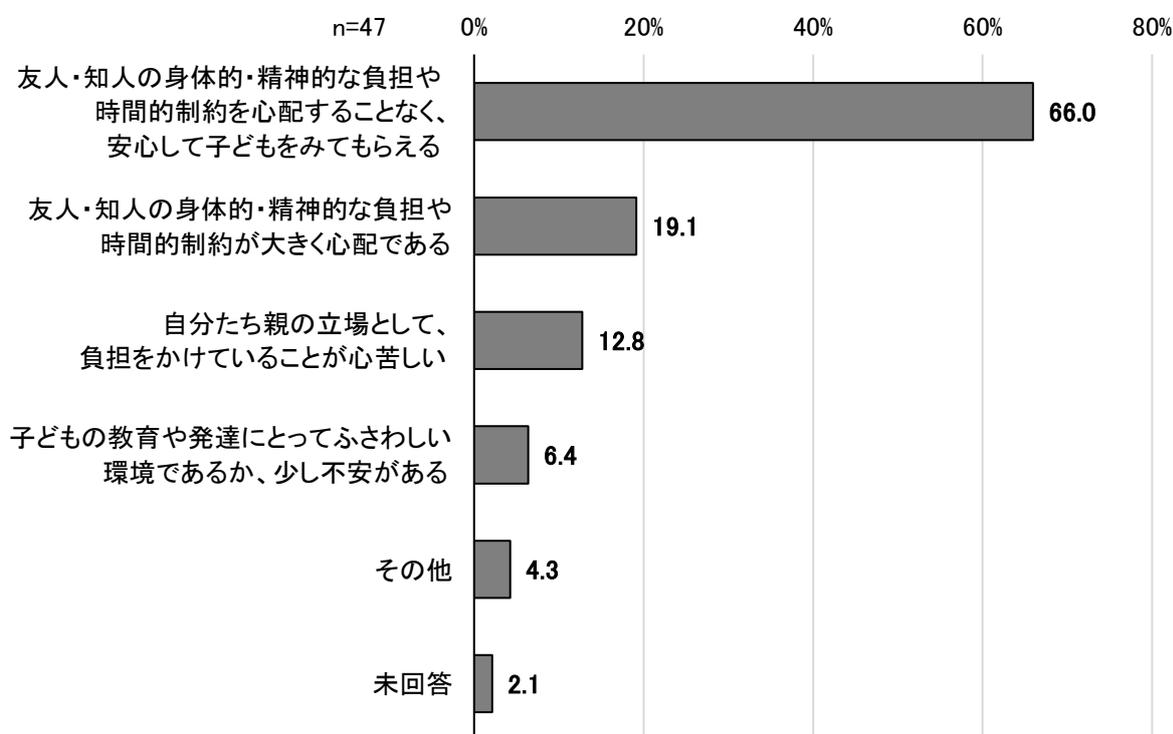


問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(〇はいくつでも)

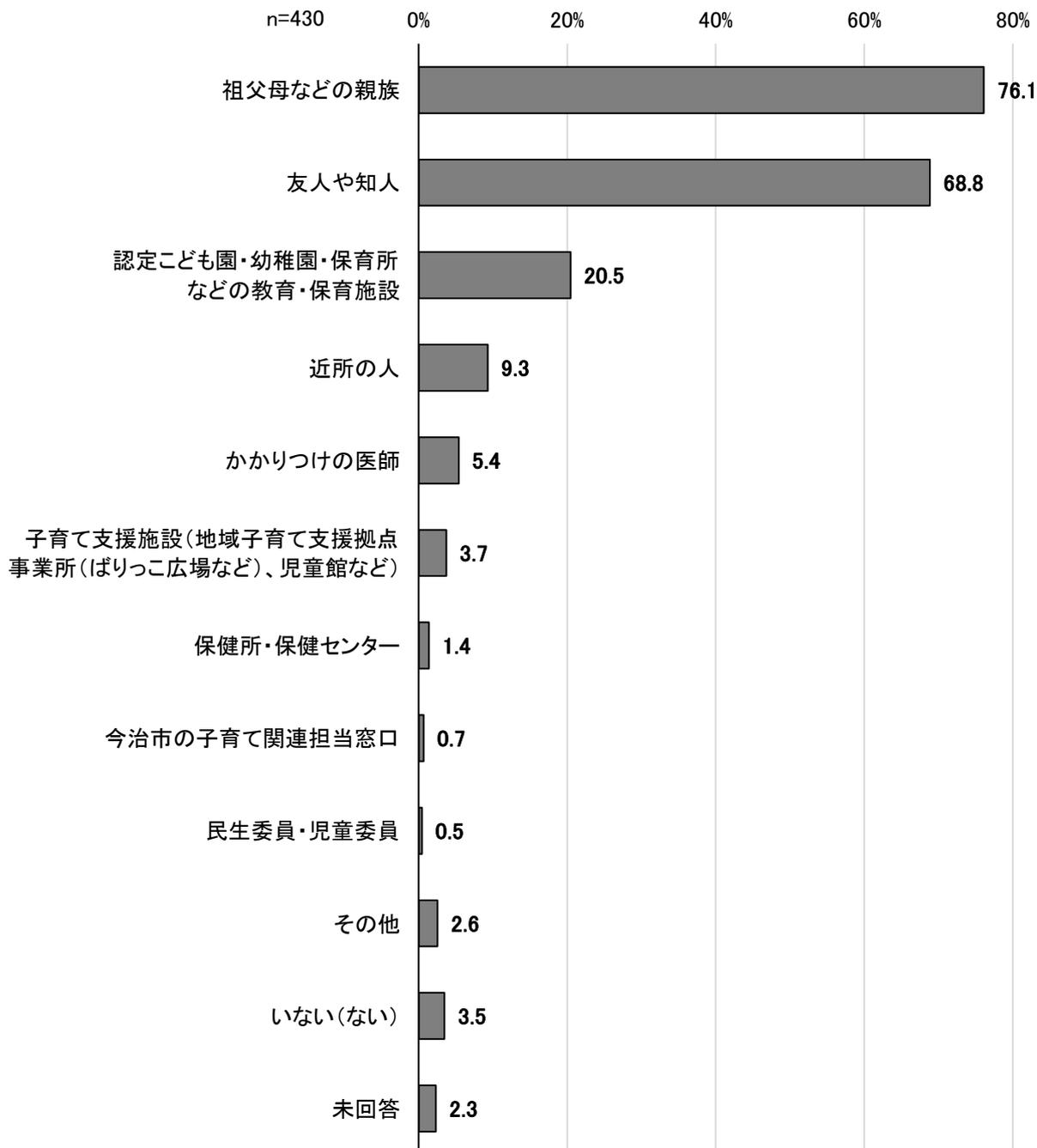
※問7で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と答えた方

友人・知人にみてもらっている状況は、上位から「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が66.0%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」19.1%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」12.8%となっています。



問8 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（〇はいくつでも）

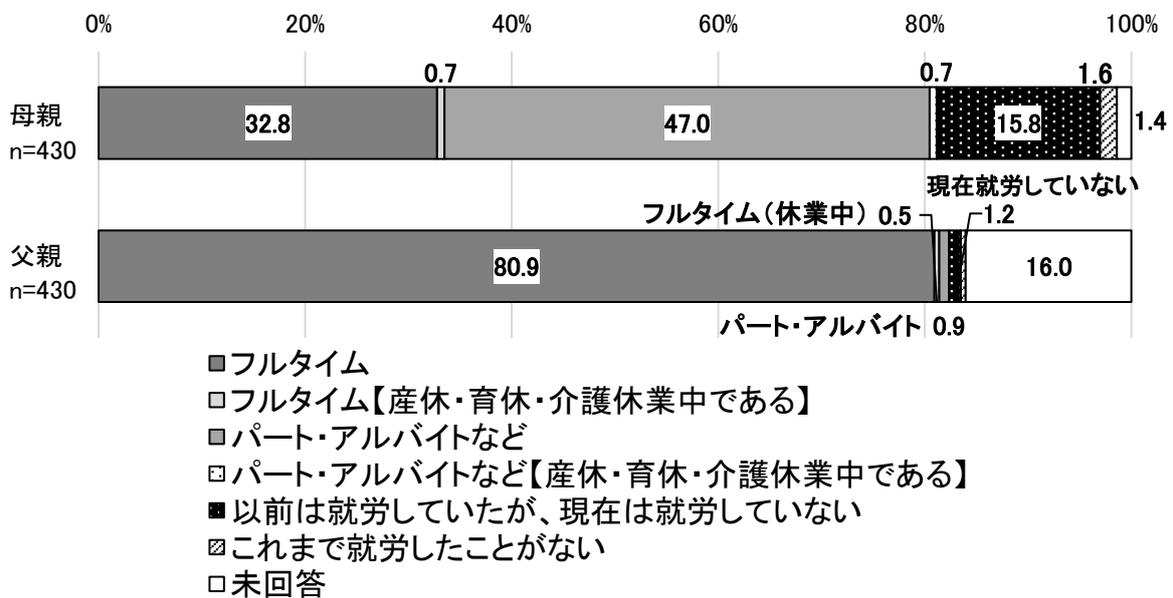
気軽に相談できる先は、上位から「祖父母などの親族」の割合が76.1%、「友人や知人」68.8%、「認定こども園・幼稚園・保育所などの教育・保育施設」20.5%となっています。一方、「いない（ない）」は3.5%となっています。



あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（〇は1つ）

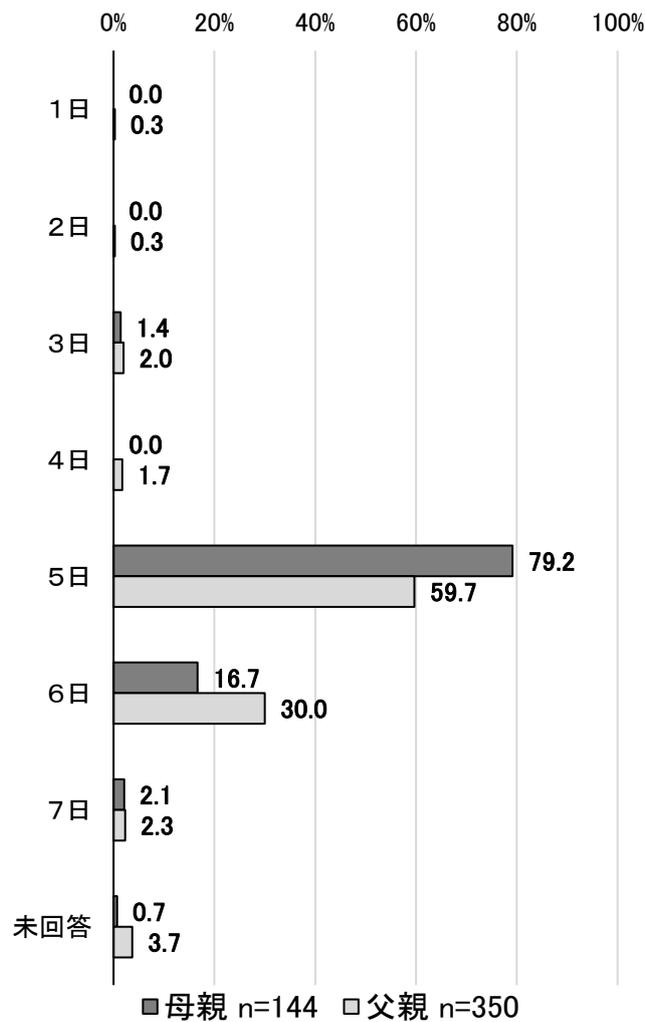
保護者の現在の就労状況は、母親は「パート・アルバイトなど」の割合が47.0%と最も高くなっています。産休・育休・介護休業中も含めると、フルタイム33.5%、パート・アルバイト47.7%となっています。父親は「フルタイム」の割合が80.9%と最も高くなっています。産休・育休・介護休業中も含めると、「フルタイム」81.4%となっています。



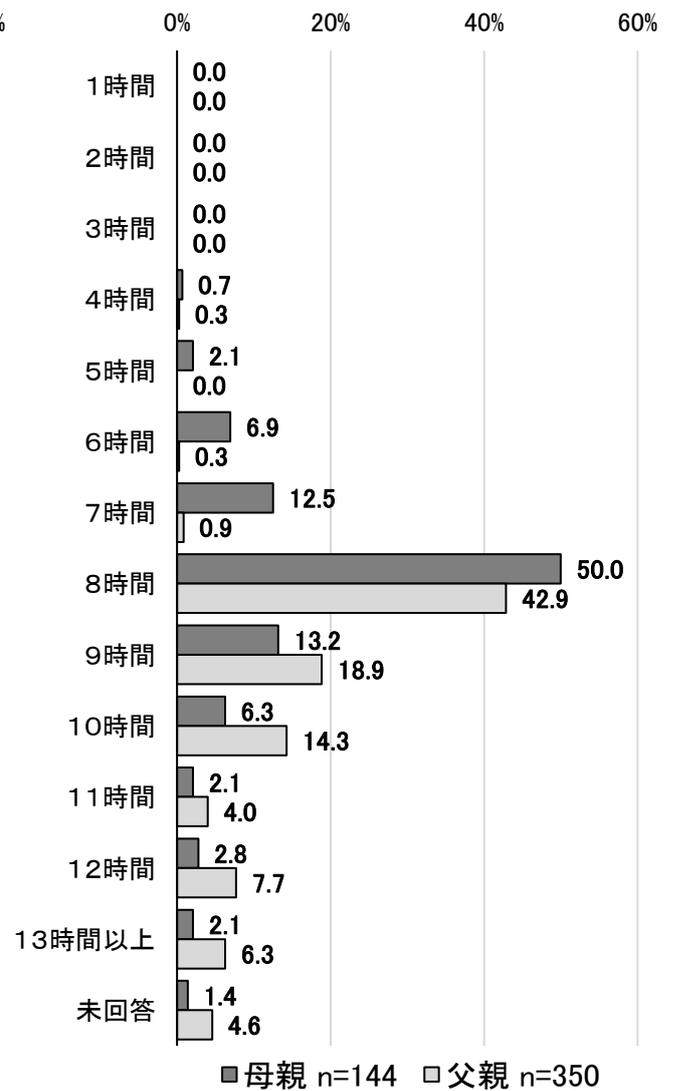
● フルタイムで就労している保護者の状況

フルタイムで就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親・父親ともに「5日」の割合が最も高く、次いで「6日」となっています。1日当たりの就労時間では、母親・父親ともに「8時間」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

① 1週当たりの就労日数

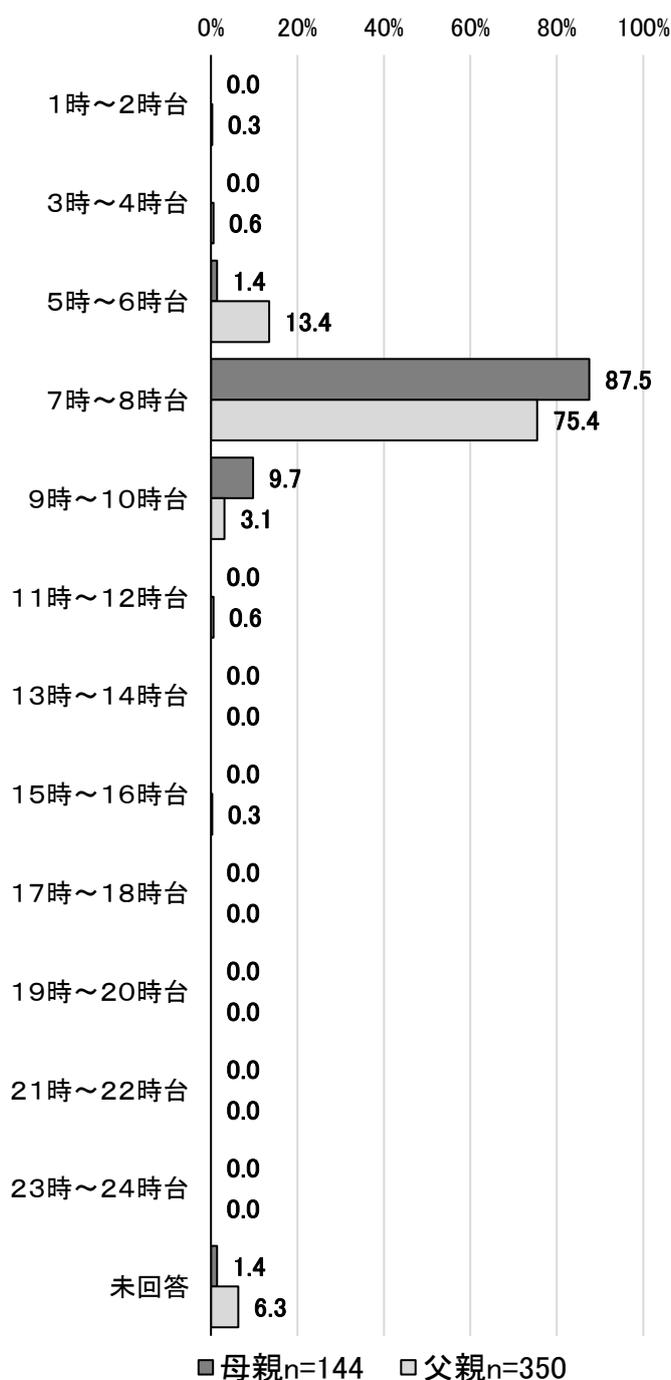


② 1日当たりの就労時間

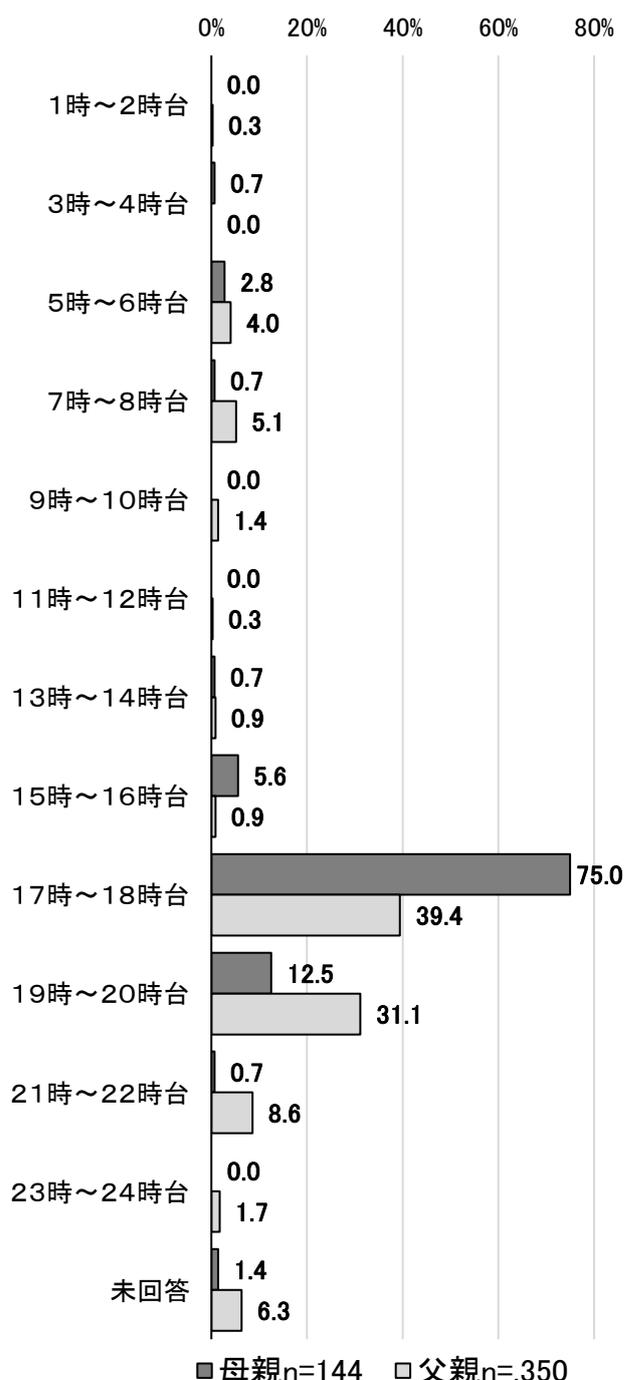


フルタイムの出発時間と帰宅時間は、出発時間については母親・父親ともに「7時～8時台」の割合が最も高くなっています。帰宅時間については、母親・父親ともに「17時から18時台」の割合が最も高くなっています。

③出発時間



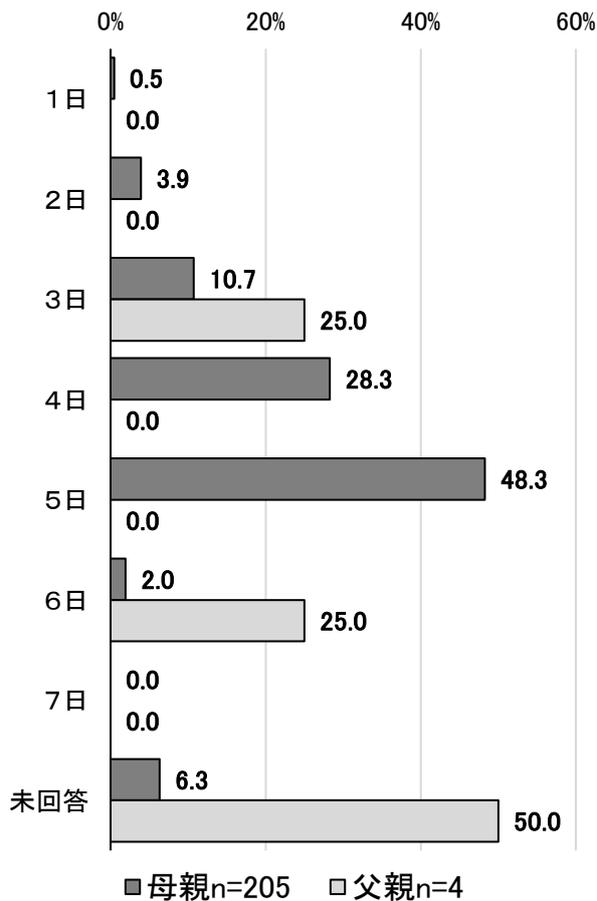
④帰宅時間



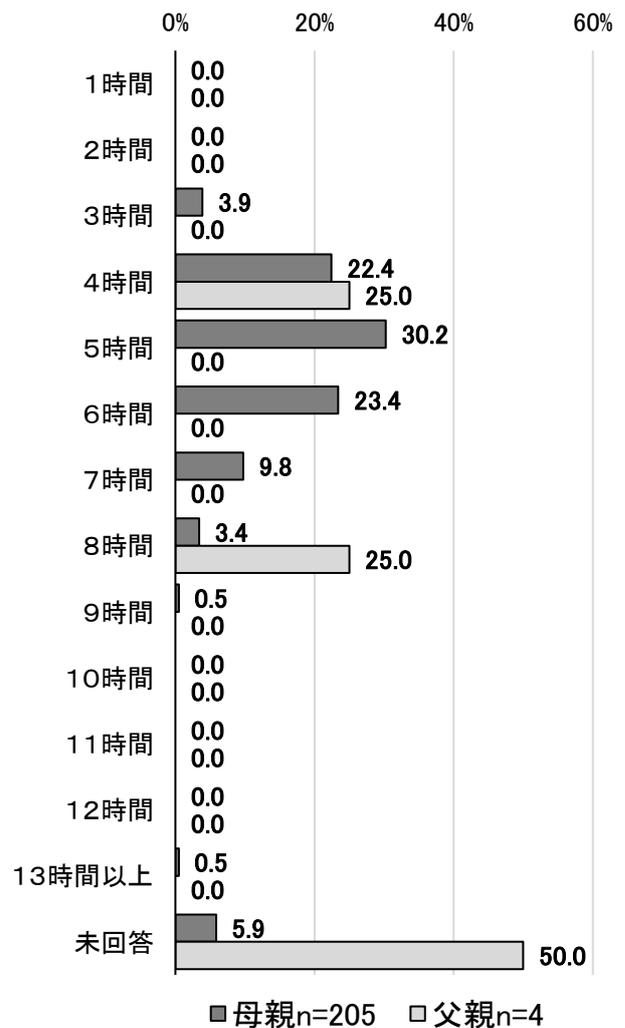
● パート・アルバイト等で就労している保護者の状況

パート・アルバイト等で就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親「5日」の割合が最も高くなっています。1日当たりの就労時間では、母親の「5時間」の割合が30.2%ともっとも高く、次いで「6時間」23.4%となっています。

① 1週間あたりの就労日数

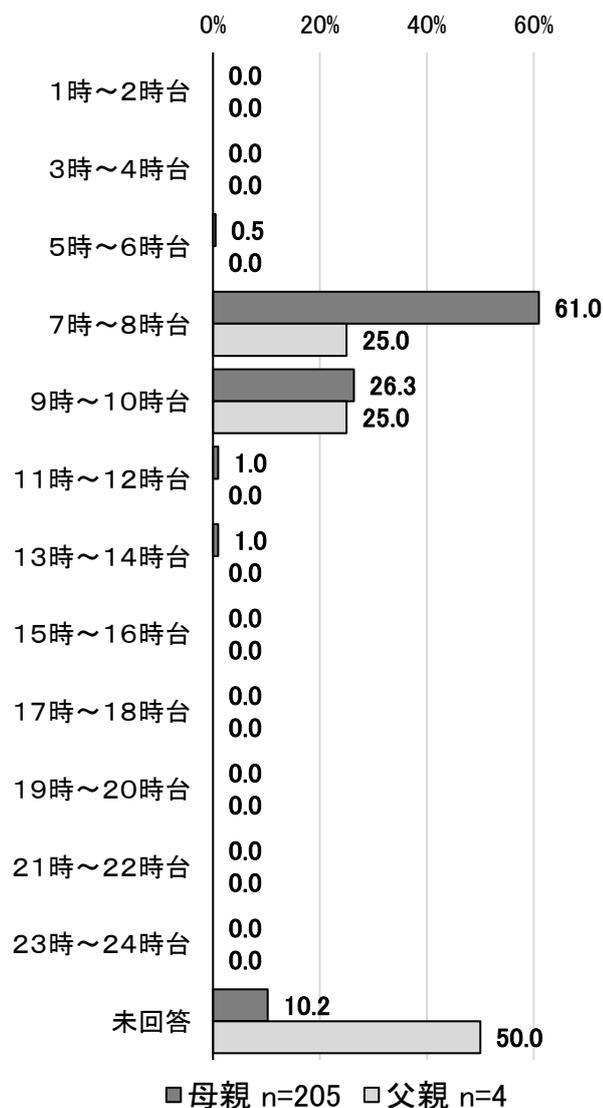


② 1日あたりの就労時間

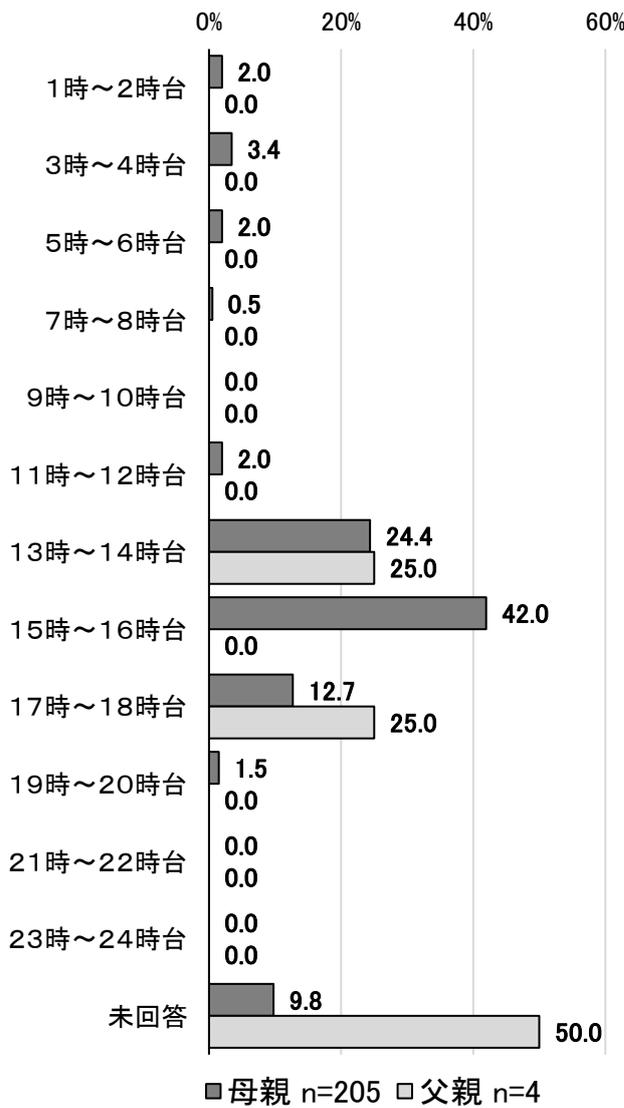


パート・アルバイト等の出発時間と帰宅時間は、出発時間については、母親は「7時～8時台」の割合が最も高く、次いで「9時～10時台」が高くなっています。帰宅時間については、母親「15時～16時台」が最も高く、次いで「13時～14時台」が高くなっています。

③ 出発時間



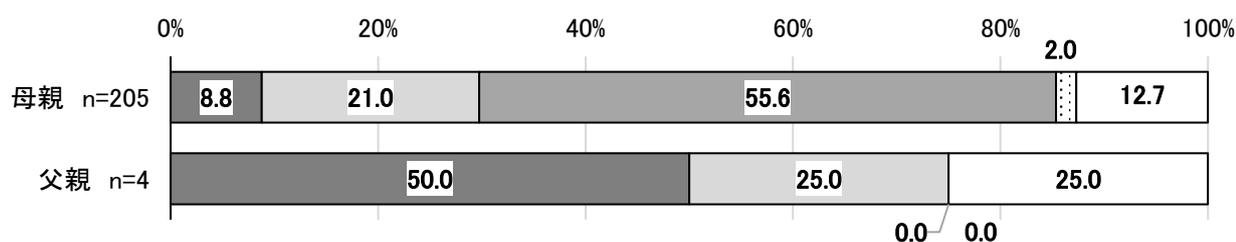
④ 帰宅時間



問 10 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

※問9で(1) 母親(2) 父親で「パート・アルバイトなど」「パート・アルバイトなど【産休・育休・介護休業中である】」と答えた方

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望は、母親は「パート・アルバイトなど(フルタイム以外)の就労を続けることを希望」の割合が55.6%と最も高く、父親は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が50.0%と最も高くなっています。母親のフルタイムへの転換希望は29.8%となっています。



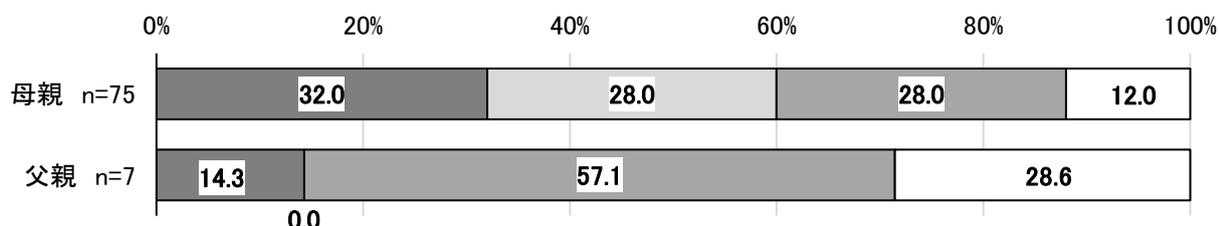
- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなど(フルタイム以外)の就労を続けることを希望
- パート・アルバイトなど(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 未回答

問 11 就労したいという希望はありますか。(〇は1つ)

※問9で(1) 母親(2) 父親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と答えた方

現在就労していない方の就労希望は、母親では「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が32.0%と最も高く、父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」57.1%と最も高くなっています。

①就労したいか

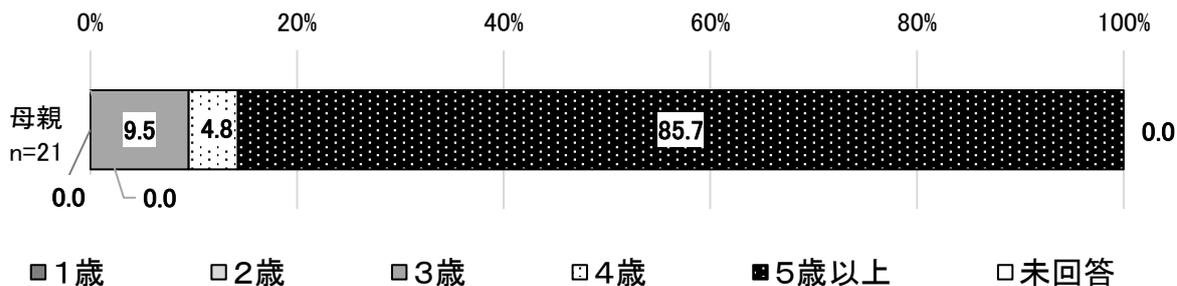


- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 未回答

一番下の子どもが何歳になれば就労したいかは、母親「5歳以上」の割合が85.7%と最も高くなっており、次いで「3歳」9.5%となっています。

②一番下の子どもが何歳になれば就労したいか

・母親



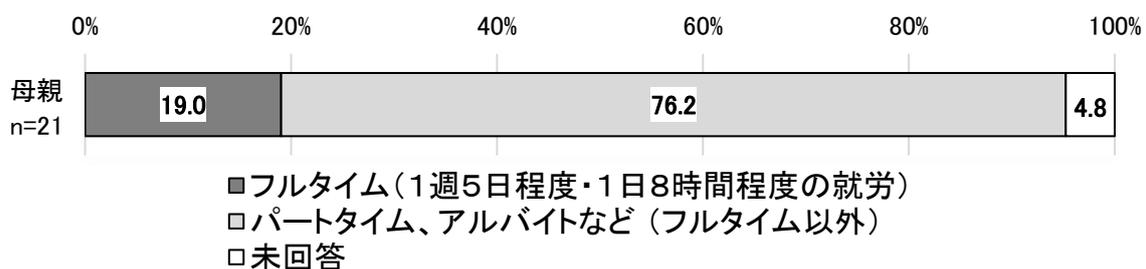
※父親の回答はありませんでした。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方の希望する就労形態は、母親「パートタイム・アルバイトなど(フルタイム以外)」の割合が76.2%と最も高くなっています。

また、「パートタイム、アルバイトなど(フルタイム以外)」を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数については、母親「4日」33.3%、次いで「3日」28.6%となっています。希望する1日当たりの就労時間では、母親「5時間」42.9%、次いで「4時間」19.0%となっています。

③希望する就労形態

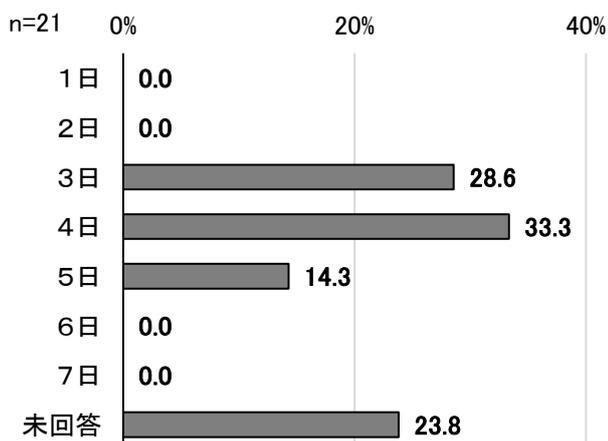
・母親



※父親の回答はありませんでした。

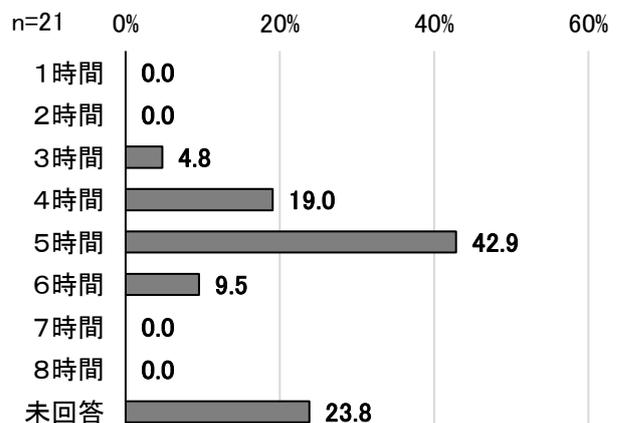
④パートタイム・アルバイト等で希望する1週当たりの就労日数

・母親



⑤パートタイム・アルバイト等で希望する1日当たりの就労時間

・母親



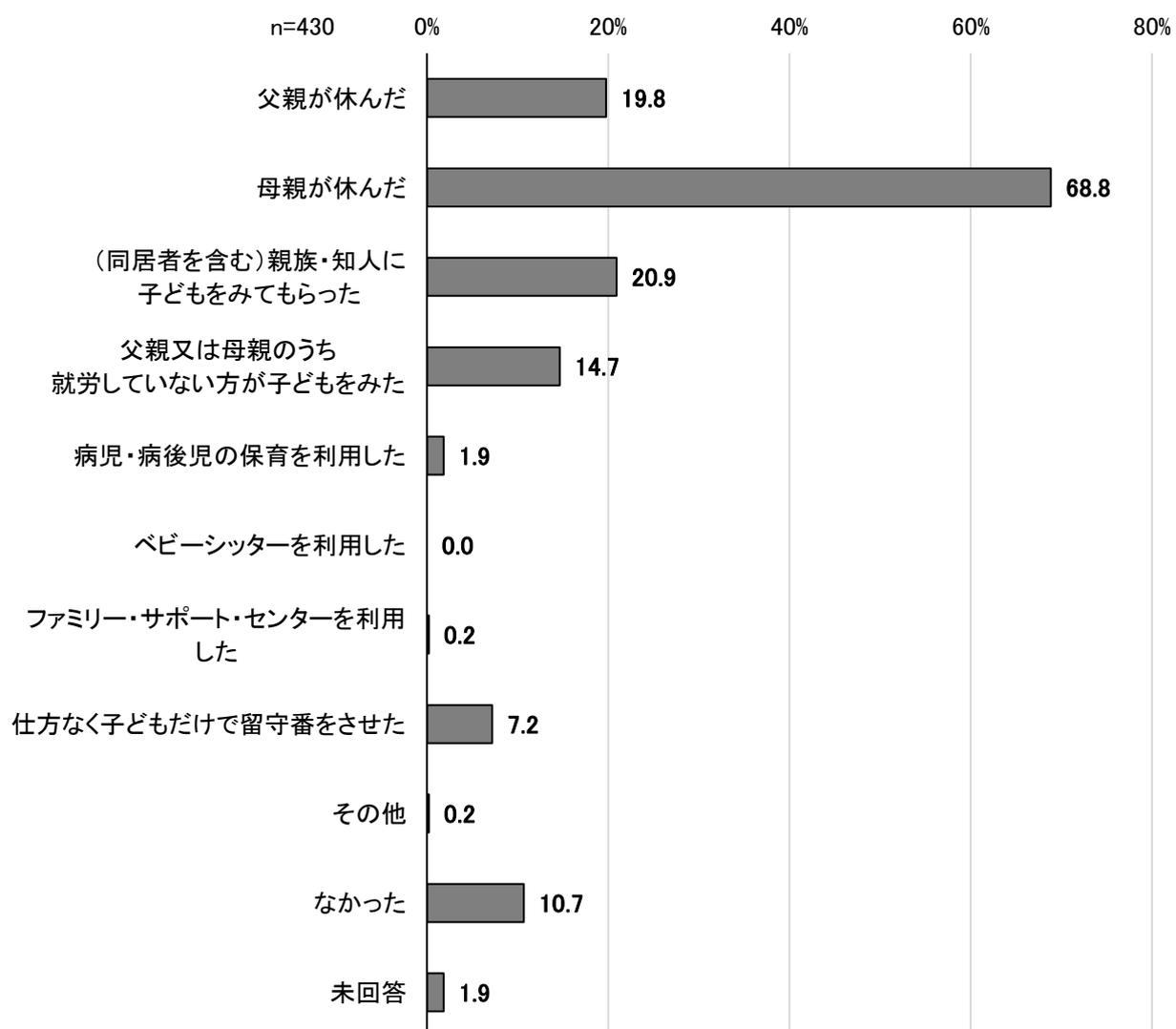
※父親の回答はありませんでした。

あて名のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします

問12 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

(〇はいくつでも)

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処法についてみると、「母親が休んだ」の割合が68.8%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」20.9%、「父親が休んだ」19.8%となっています。



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、「母親が休んだ」では「1～5日」の割合が61.2%、「父親が休んだ」が88.2%となっています。「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」では「1～5日」が83.8%となっており、「6～10日」が6.5%となっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対処日数

回答	父親が休んだ		母親が休んだ		(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった		父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		病児・病後児の保育を利用した		仕方なく子どもだけで留守番をさせた		その他	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1日	17	20.0	39	13.2	14	15.6	5	7.9	1	12.5	5	16.1	0	0.0
2日	30	35.3	40	13.5	17	18.9	3	4.8	2	25.0	11	35.5	0	0.0
3日	17	20.0	45	15.2	13	14.4	3	4.8	0	0.0	5	16.1	0	0.0
4日	0	0.0	7	2.4	1	1.1	2	3.2	0	0.0	1	3.2	0	0.0
5日	11	12.9	50	16.9	13	14.4	14	22.2	0	0.0	4	12.9	0	0.0
6～10日	2	2.4	45	15.2	15	16.7	16	25.4	3	37.5	2	6.5	1	100.0
11～30日	1	1.2	34	11.5	4	4.4	9	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31日以上	0	0.0	1	0.3	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
未回答	7	8.2	35	11.8	12	13.3	11	17.5	2	25.0	3	9.7	0	0.0

※ 「ベビーシッターを利用した」の回答はありませんでした。

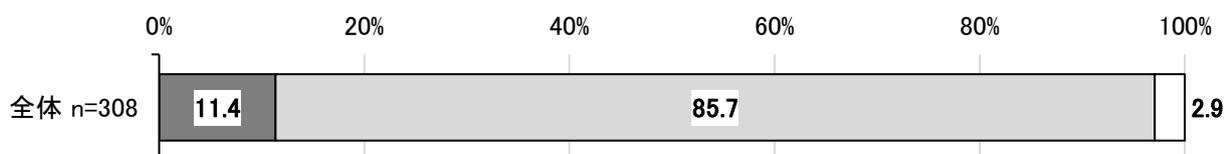
「ファミリー・サポート・センターを利用した」で「3日」に1件の回答がありました。

問12-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。(〇は1つ)

※問12で「父親が休んだ」か「母親が休んだ」と答えた方

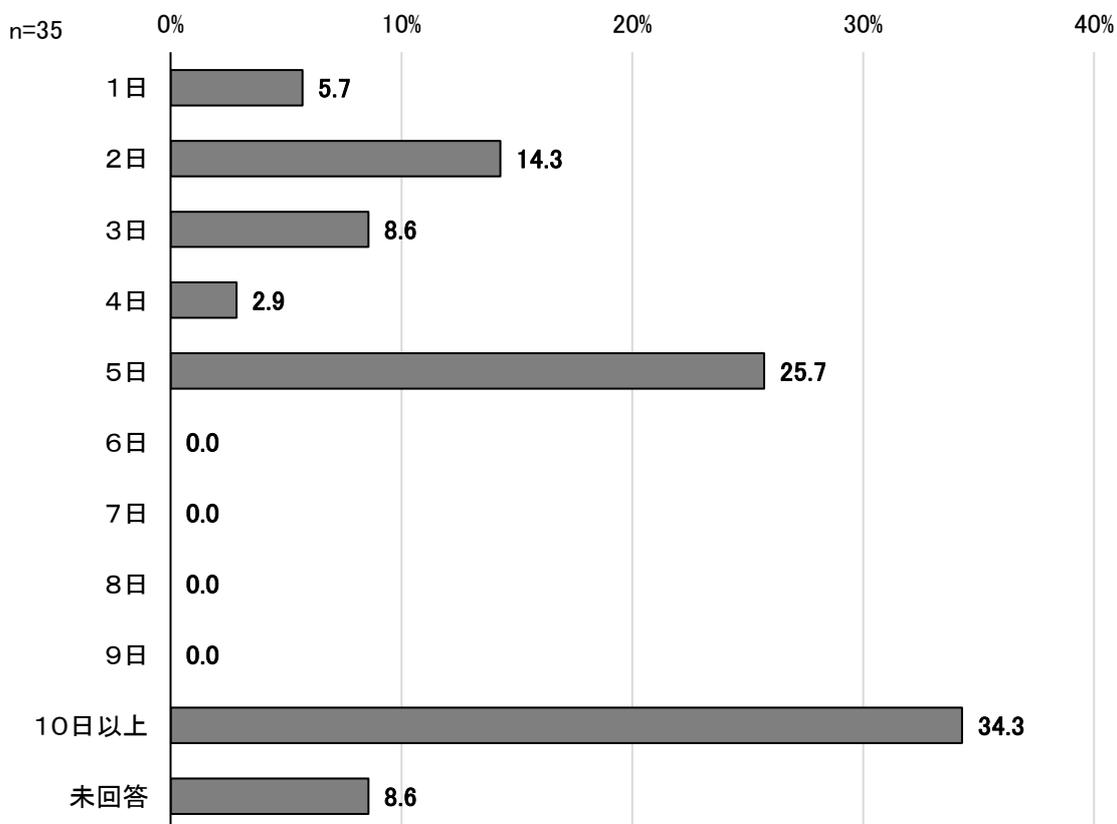
父親または母親が休んだ方のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方の割合が11.4%、「利用したいとは思わない」が85.7%となっています。

また、仕事を休んで子どもをみたい日数は、「10日以上」が34.3%が最も高く、次いで「5日」25.7%となっています。



■ できれば病児・病後児保育施設などを利用したい □ 利用したいとは思わない □ 未回答

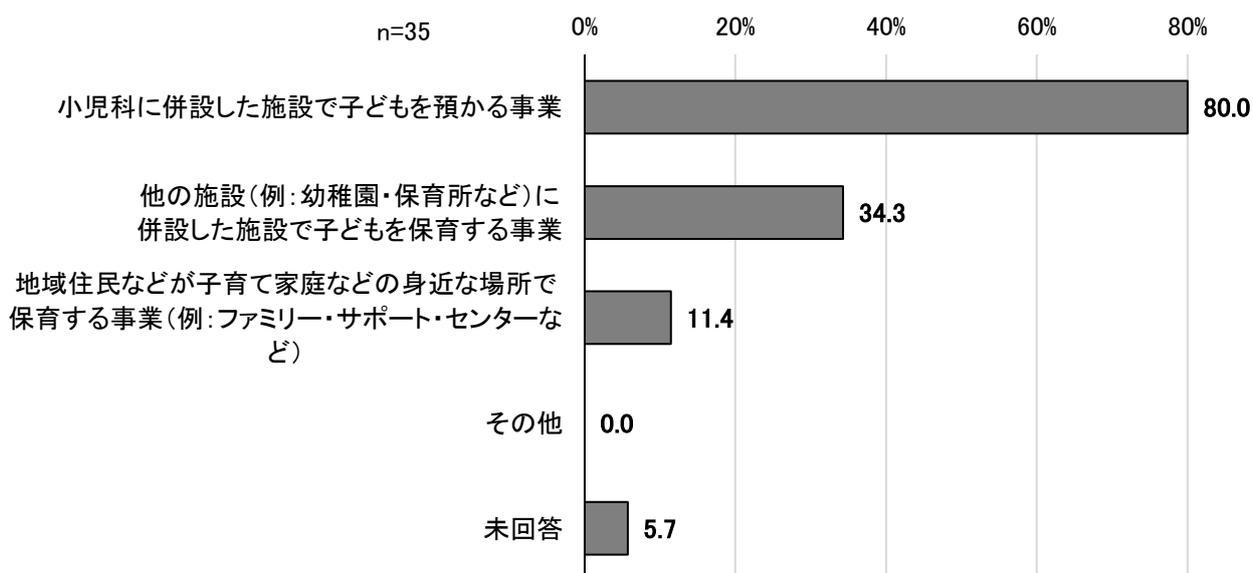
◎病児・病後児保育施設を利用したい日数



問12-2 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)

※問12-1で「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

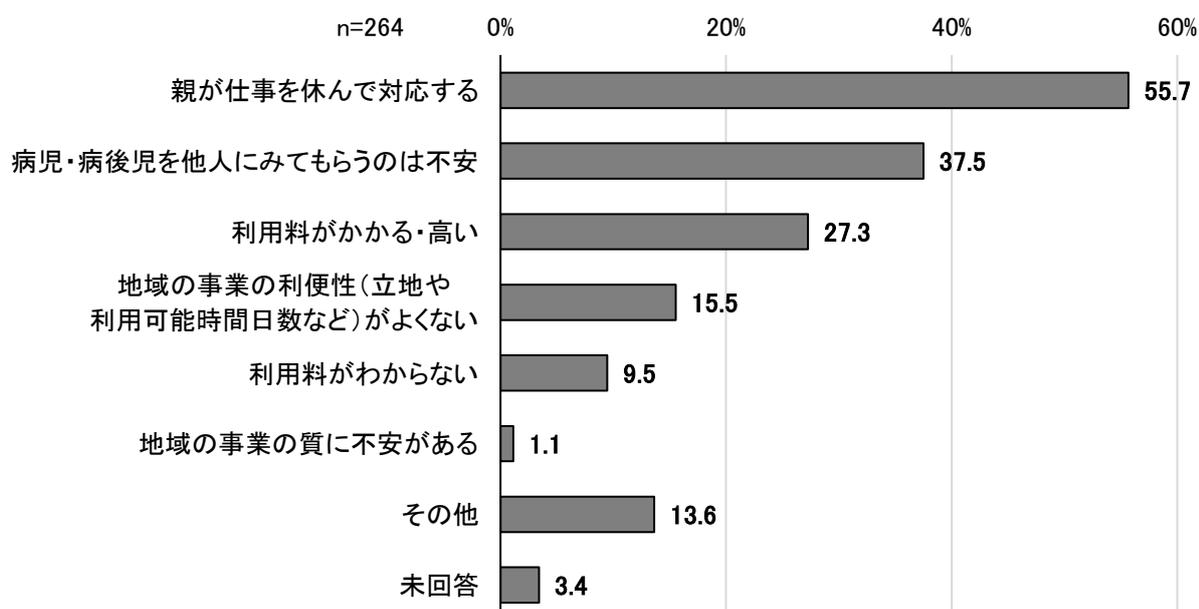
病児・病後児保育施設等を利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」80.0%、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所など)に併設した施設で子どもを保育する事業」34.3%となっています。



問12-3 そう思われる理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

※問12-1で「利用したいとは思わない」と答えた方

利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」の割合が55.7%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が37.5%となっています。

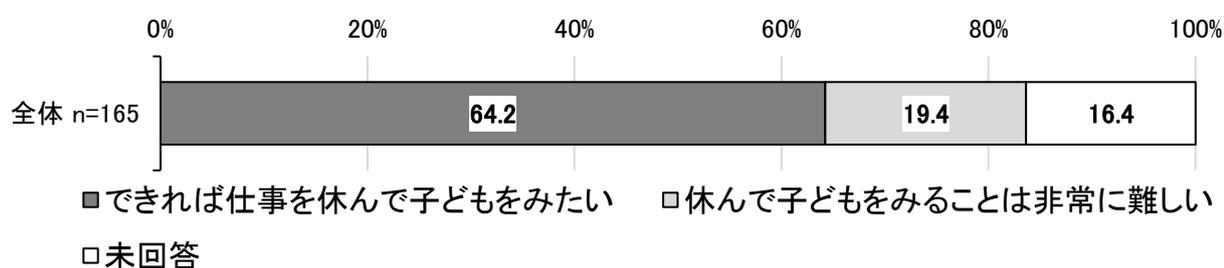


問12-4 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んでお子さんをみたいと思われましたか。(〇は1つ)

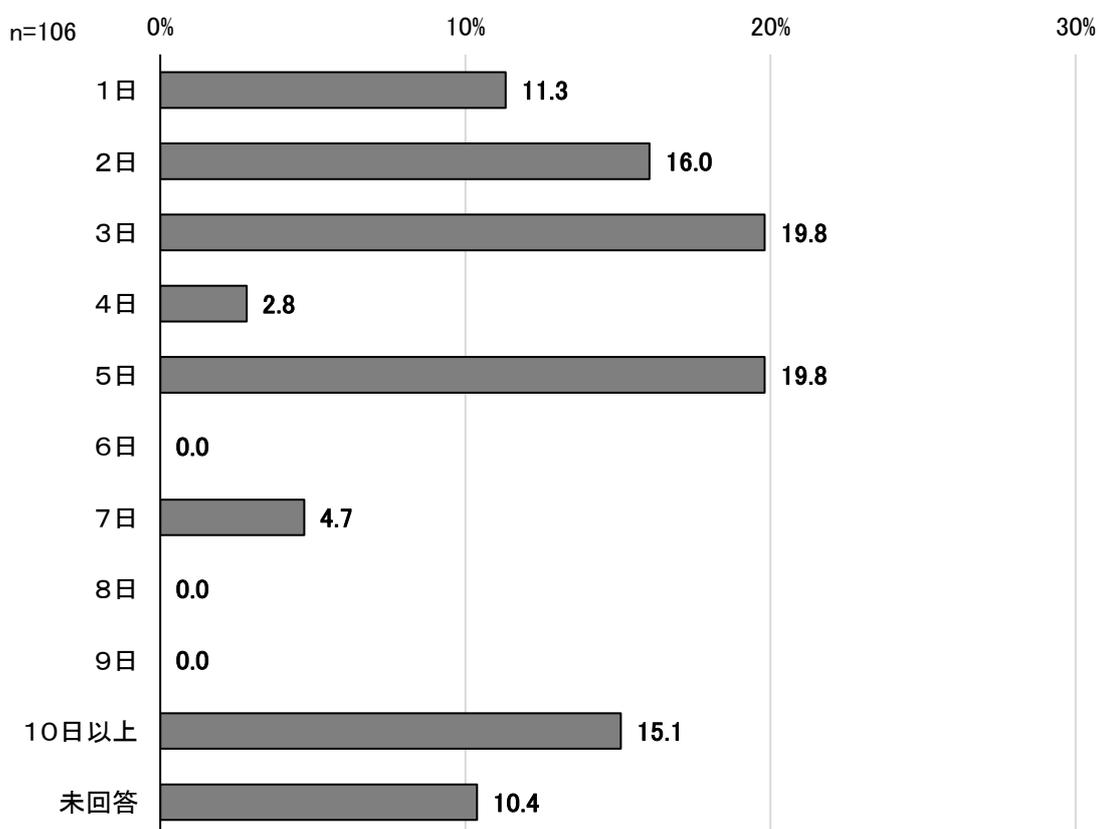
※問12で母親・父親が休んだ以外を選択した方で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「その他」と答えた方

親が休んだ以外の対応をした人の気持ちでは、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」の割合が64.2%となっており、「休んで子どもをみることは非常に難しい」26.7%となっています。

仕事を休んで子どもをみたい日数は「3日」と「5日」の割合がともに19.4%と最も高く、次いで「2日」16.0%となっており、「10日以上」休みたい親も15.1%います。



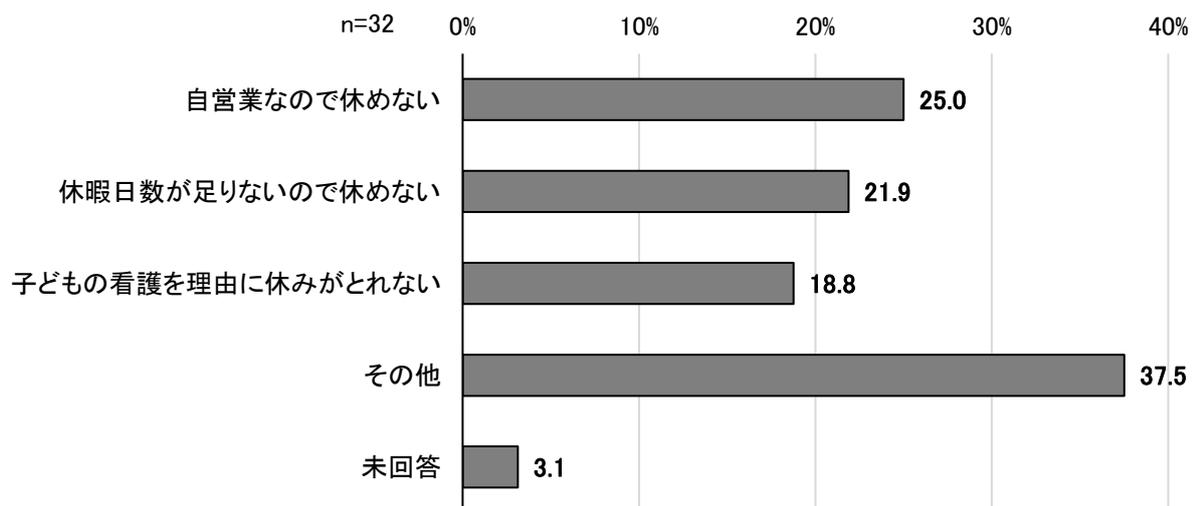
◎仕事を休んで子どもをみたい日数



問12-5 そう思われる理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

※問12-4で「休んで子どもをみることは非常に難しい」と答えた方

仕事を休んで子どもをみるのが非常に難しい理由は、「自営業なので休めない」の割合が25.0%と最も高くなっています。



あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてお伺いします

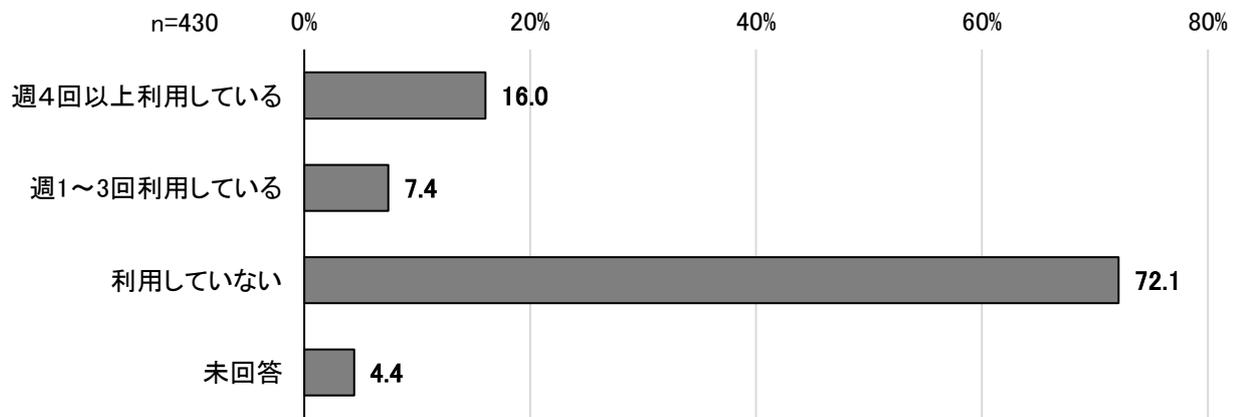
問13 あて名のお子さんは、現在放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。

平日の放課後児童クラブの利用は、「週4回以上利用している」の割合が16.0%、「週1～3回利用している」7.4%となっています。利用目的は「就労している」92.2%が最も高くなっています。

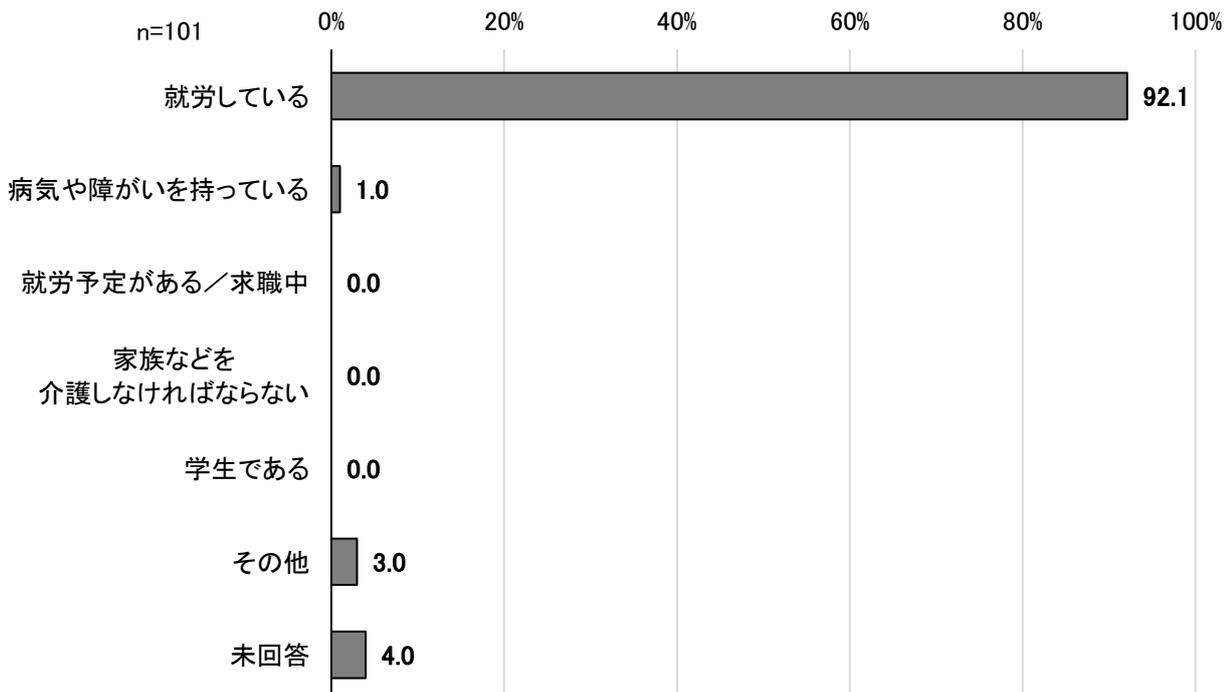
一方、「利用していない」は72.1%となっています。利用していない理由は「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思うから」27.7%と最も高く、次いで「現在就労していないから」22.3%となっています。

（1）平日

①放課後児童クラブ（学童保育）を利用しているか

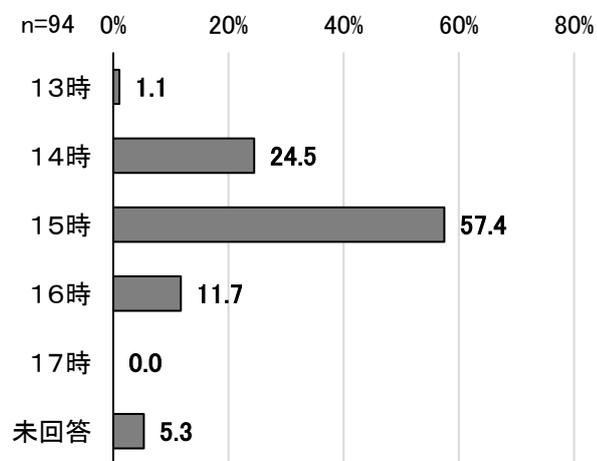


②利用している理由

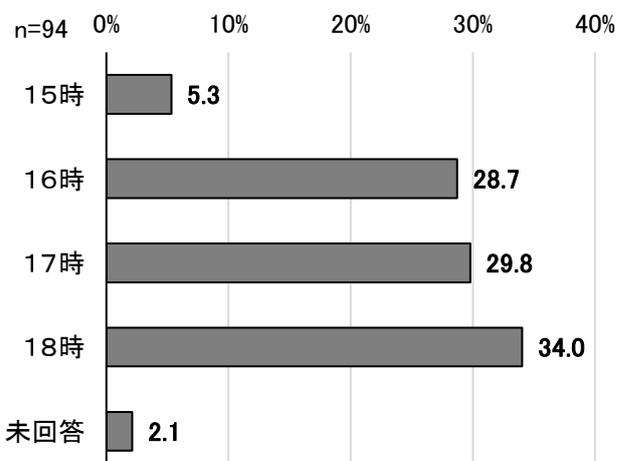


③利用時間帯

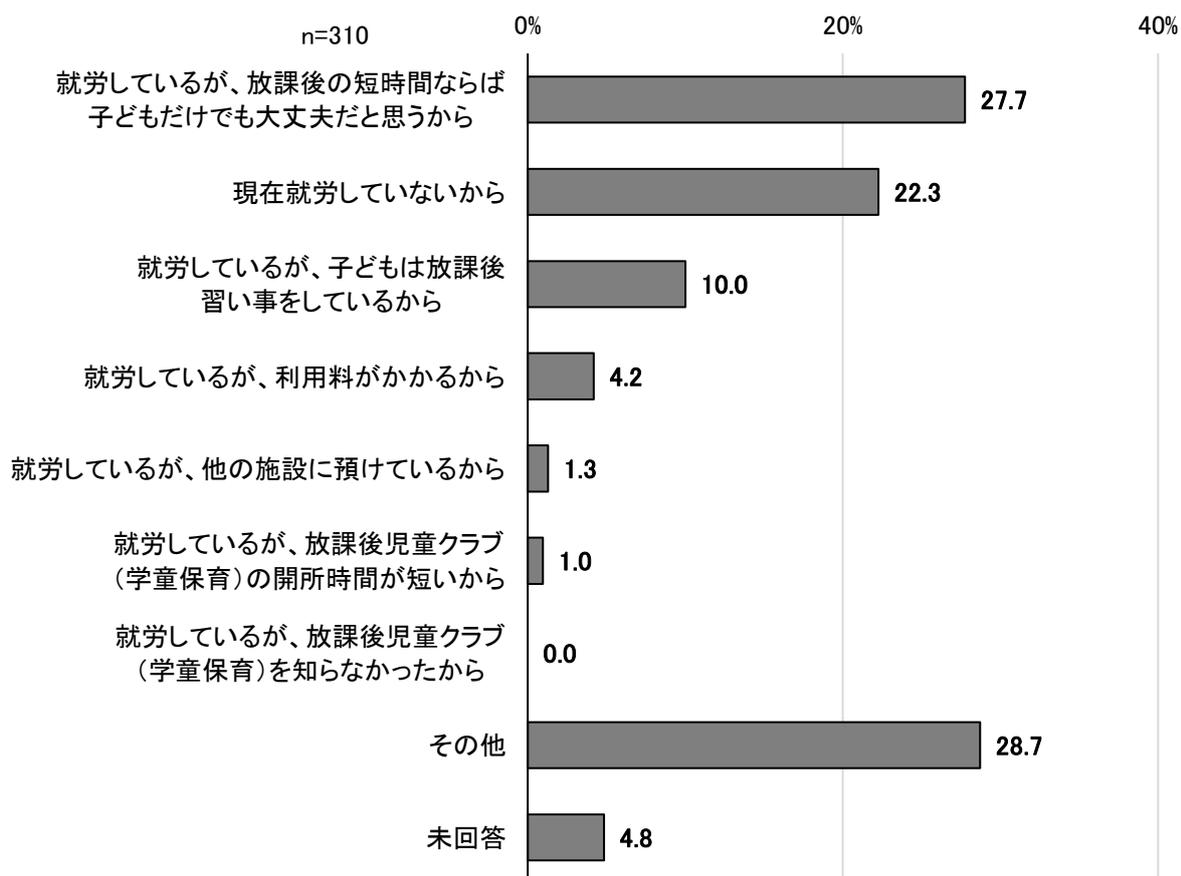
利用開始



利用終了



④利用していない理由

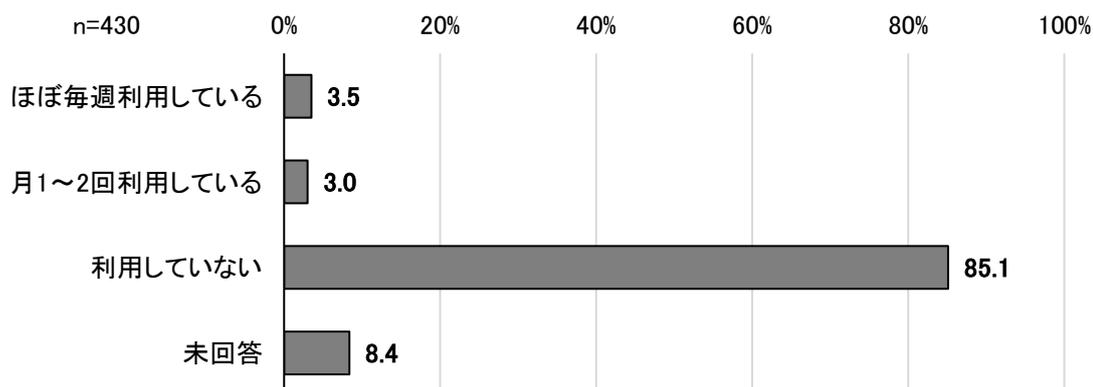


土曜日の放課後児童クラブの利用は、「ほぼ毎週利用している」の割合が3.5%、「月1～2回利用している」3.0%となっています。利用の理由は、「就労している」82.1%と最も高くなっています。

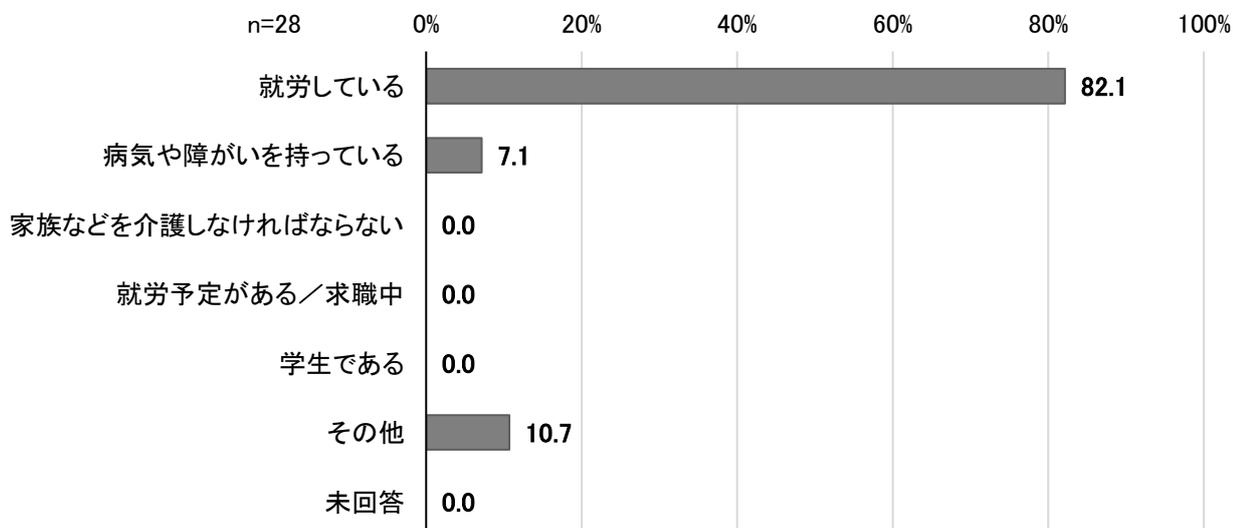
一方、「利用していない」は85.1%となっています。利用していない理由は、「現在就労していないから」が64.2%と最も高くなっています。

(2) 土曜日

①放課後児童クラブ（学童保育）を利用しているか

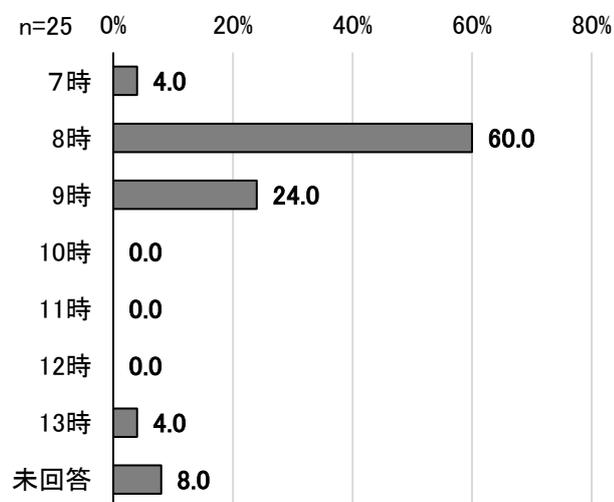


②利用している理由

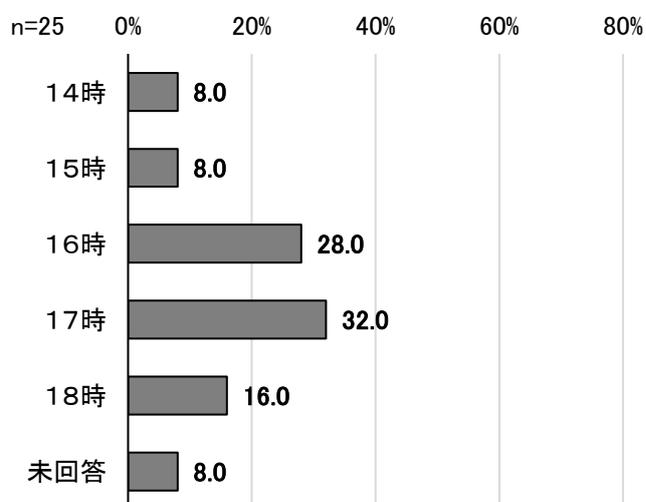


③利用時間帯

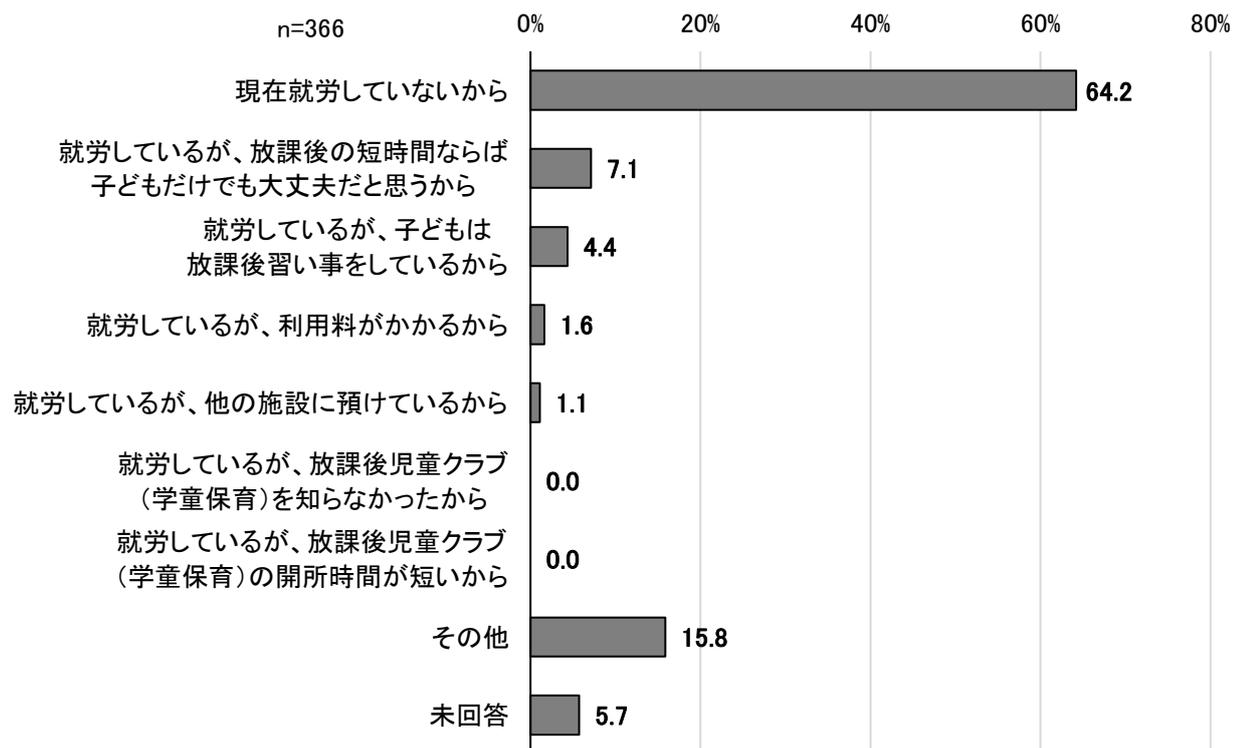
利用開始



利用終了



④利用していない理由

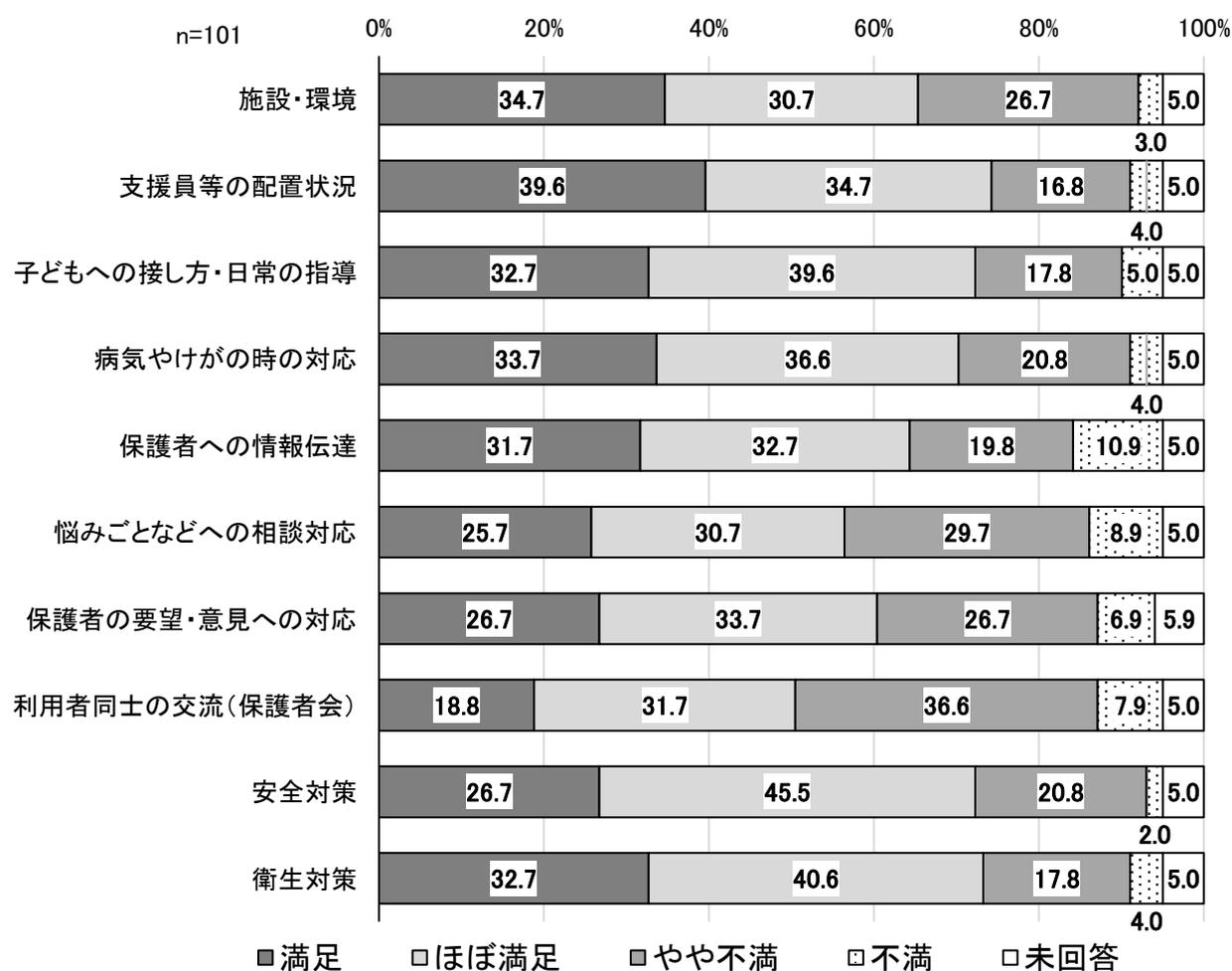


問14 放課後児童クラブ（学童保育）に対してどのように感じていますか。

(①~⑩のそれぞれ1つに○)

※問13で放課後児童クラブを「利用している」と答えた方

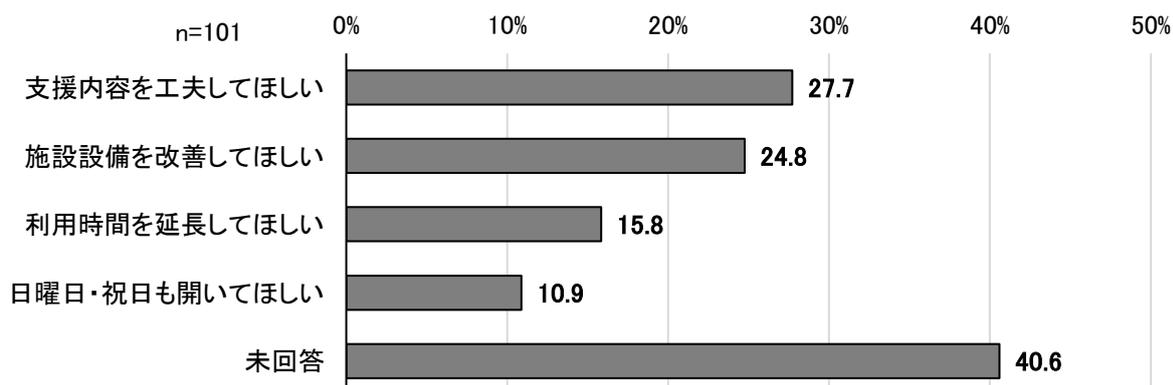
放課後児童クラブに対して、「満足」の割合が最も高い項目は、「支援員等の配置状況」39.6%で、次いで「施設・環境」34.7%、「病気やけがの時の対応」33.7%となっています。一方、「不満」の回答が最も多いのは、「保護者への情報伝達」10.9%で、次いで「悩みごとなどへの相談対応」8.9%、「利用者同士の交流」7.9%となっています。



問15 現在通っている放課後児童クラブ（学童保育）に対して次のような要望がありますか。
 （○は2つまで）

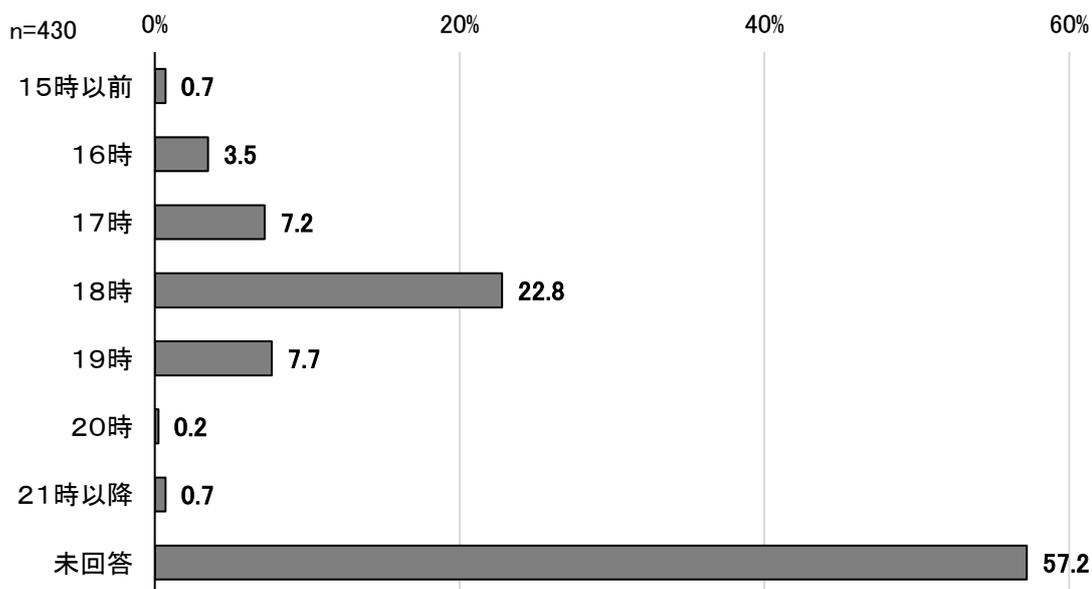
※問13で放課後児童クラブを「利用している」と答えた方

現在通っている放課後児童クラブ（学童保育）に対する要望として、「支援内容を工夫してほしい」の割合が27.7%と最も高く、次いで「施設整備を改善してほしい」24.8%となっています。



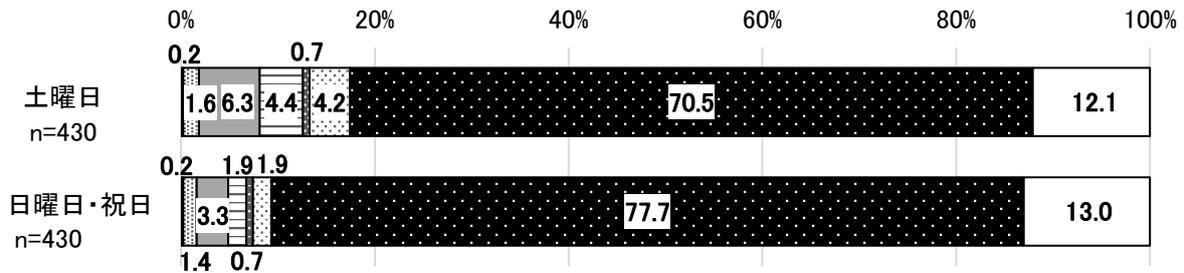
問16 あて名のお子さんについて、平日に放課後児童クラブの延長時間が利用できるとしたら、何時まで利用したいですか。

平日の放課後児童クラブの延長希望は、「18時」の割合が22.8%と最も高く、次いで「19時」7.7%、「17時」7.2%となっています。



問17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(〇は1つ)

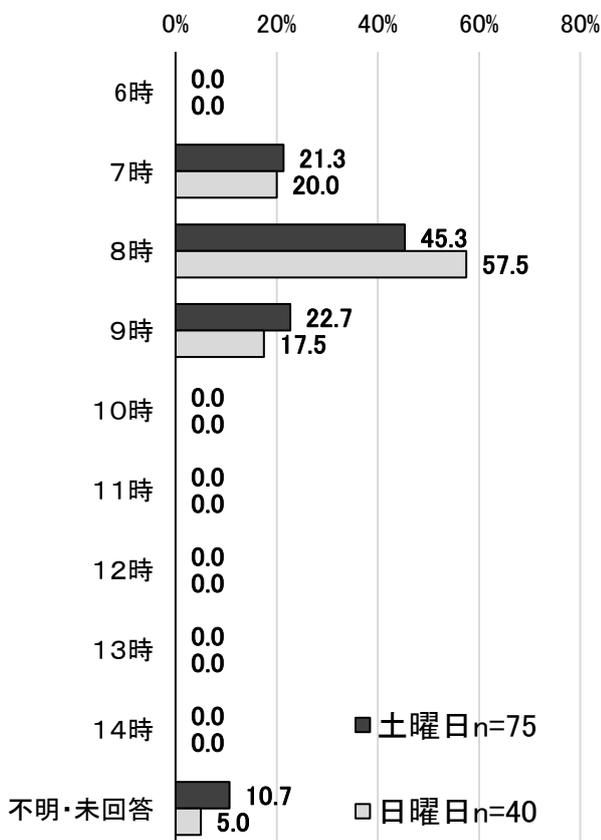
放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望は、土曜日と日曜日・祝日ともに「利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。利用する時間帯は、開始が「8時」が最も高く、終了が「18時」が最も高くなっています。



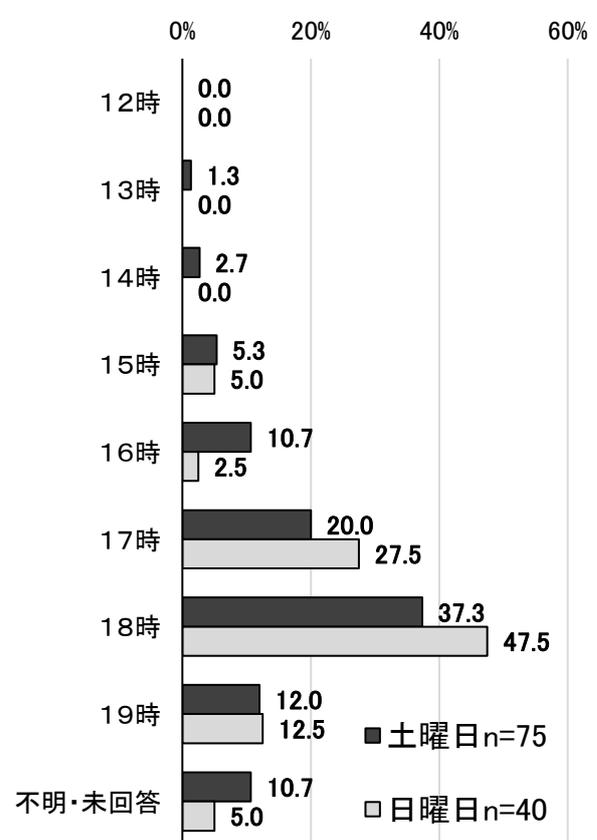
- 1年生までは利用したい
- 2年生までは利用したい
- 3年生までは利用したい
- 4年生までは利用したい
- 5年生までは利用したい
- 6年生までは利用したい
- 利用する必要はない
- 未回答

◎希望する利用時間帯

・利用開始時間



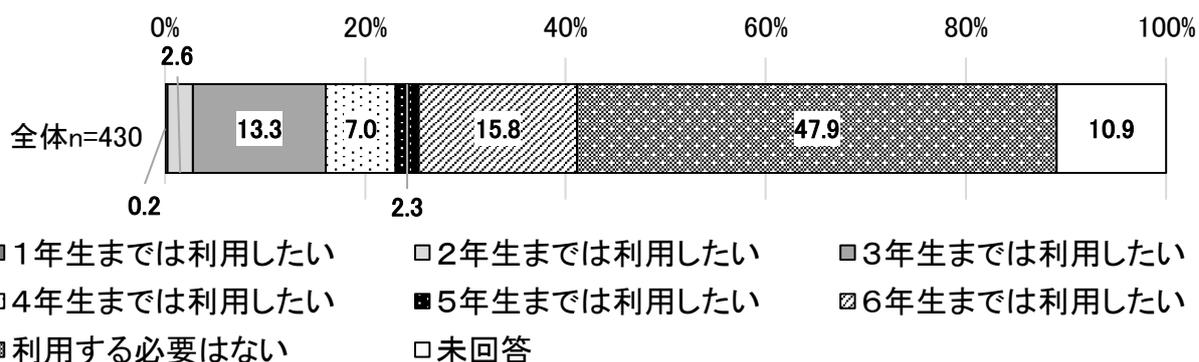
・利用終了時間



問18 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(〇は1つ)

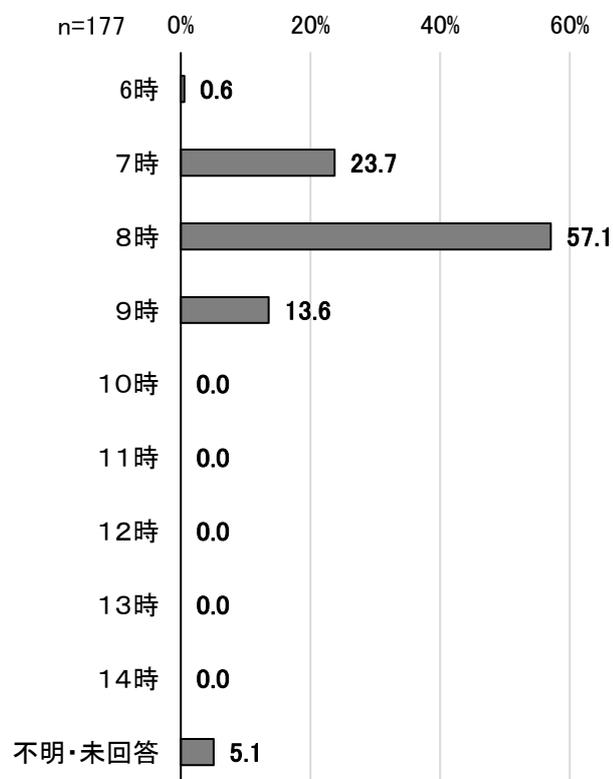
長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要がない」47.9%の割合が最も高く、次いで「6年生までは利用したい」15.8%、「3年生までは利用したい」13.3%となっています。

利用する時間帯は、開始時間が「8時」、終了時間が「18時」の割合が最も高くなっています。

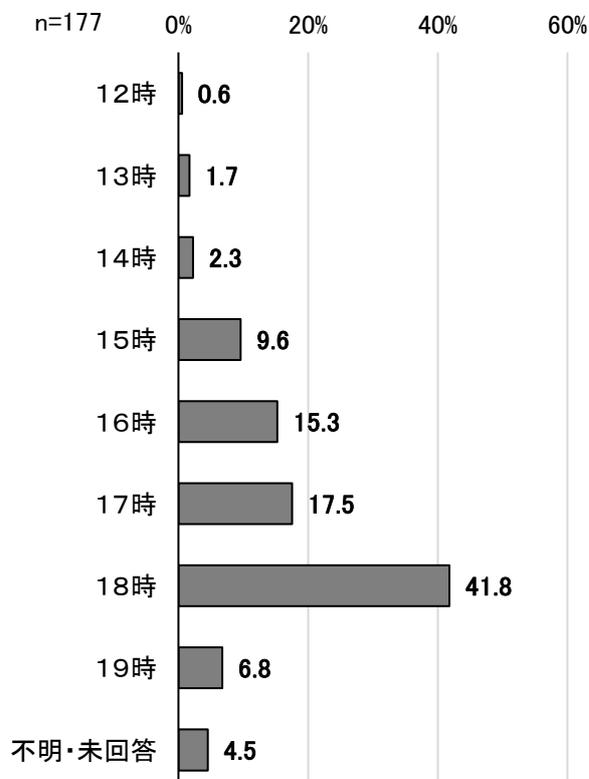


◎希望する利用時間帯

・利用開始時間



・利用終了時間



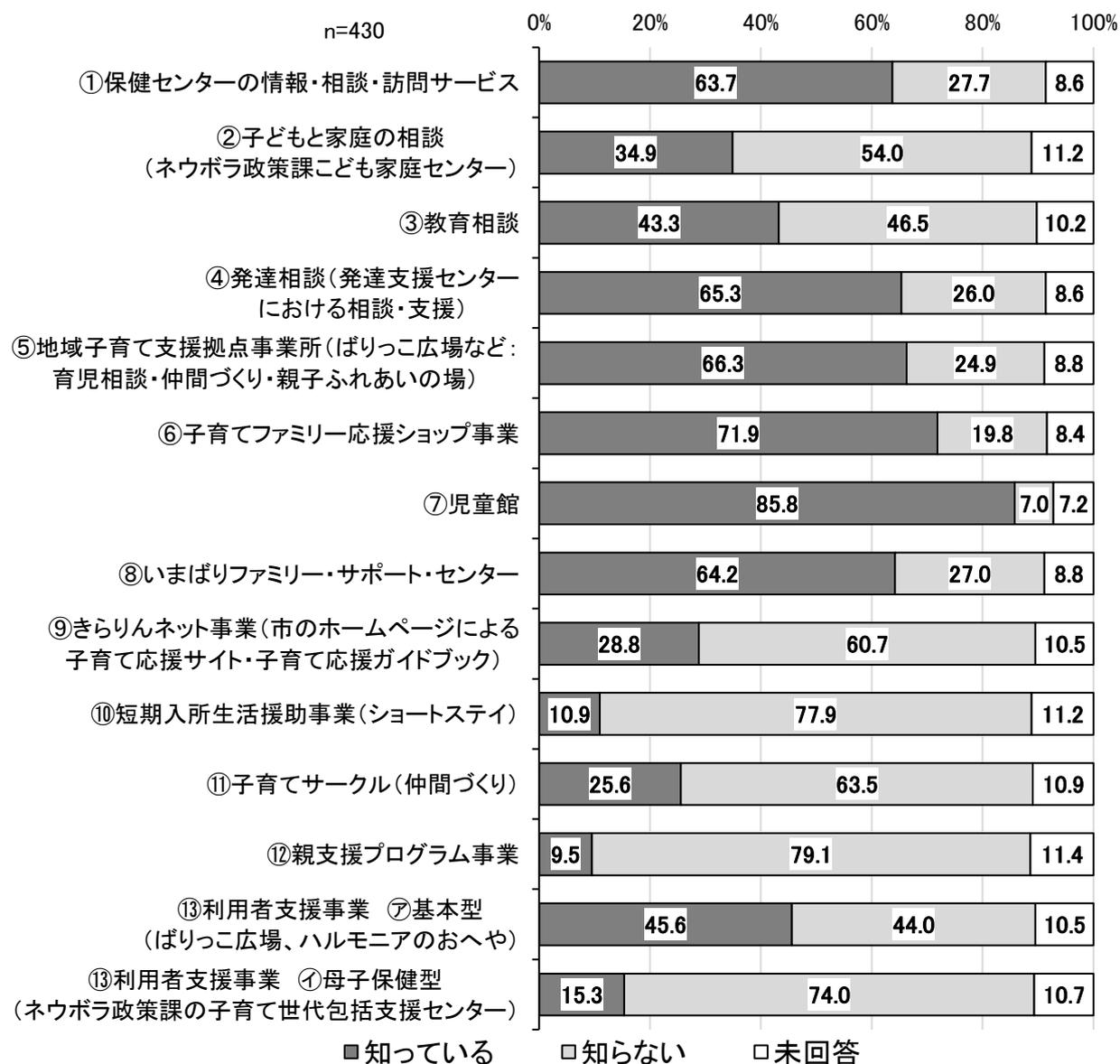
あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします

問19 今治市の子育て支援事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（それぞれに○は1つ）

今治市で実施している子育て支援事業の認知度は、上位から「⑦児童館」85.8%、「⑥子育てファミリー応援ショップ事業」71.9%、「⑤地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など8か所：育児相談・仲間づくり・親子ふれあいの場）」66.3%となっています。

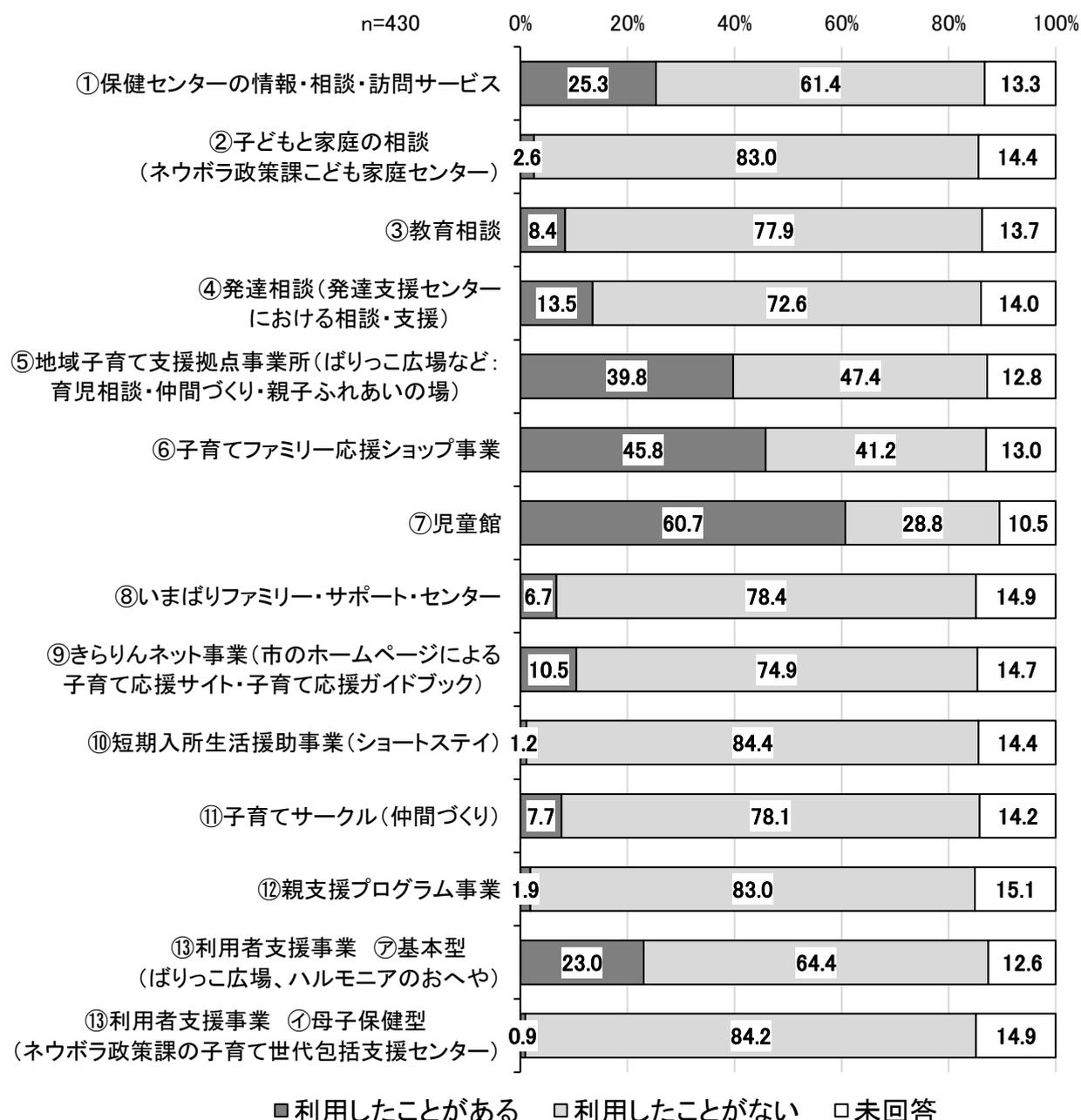
一方で、「⑫親支援プログラム事業」が9.5%と最も認知度が低く、次いで「⑩短期入所生活援助事業（ショートステイ）」10.9%となっています。

①今治市で実施している子育て支援事業の認知度



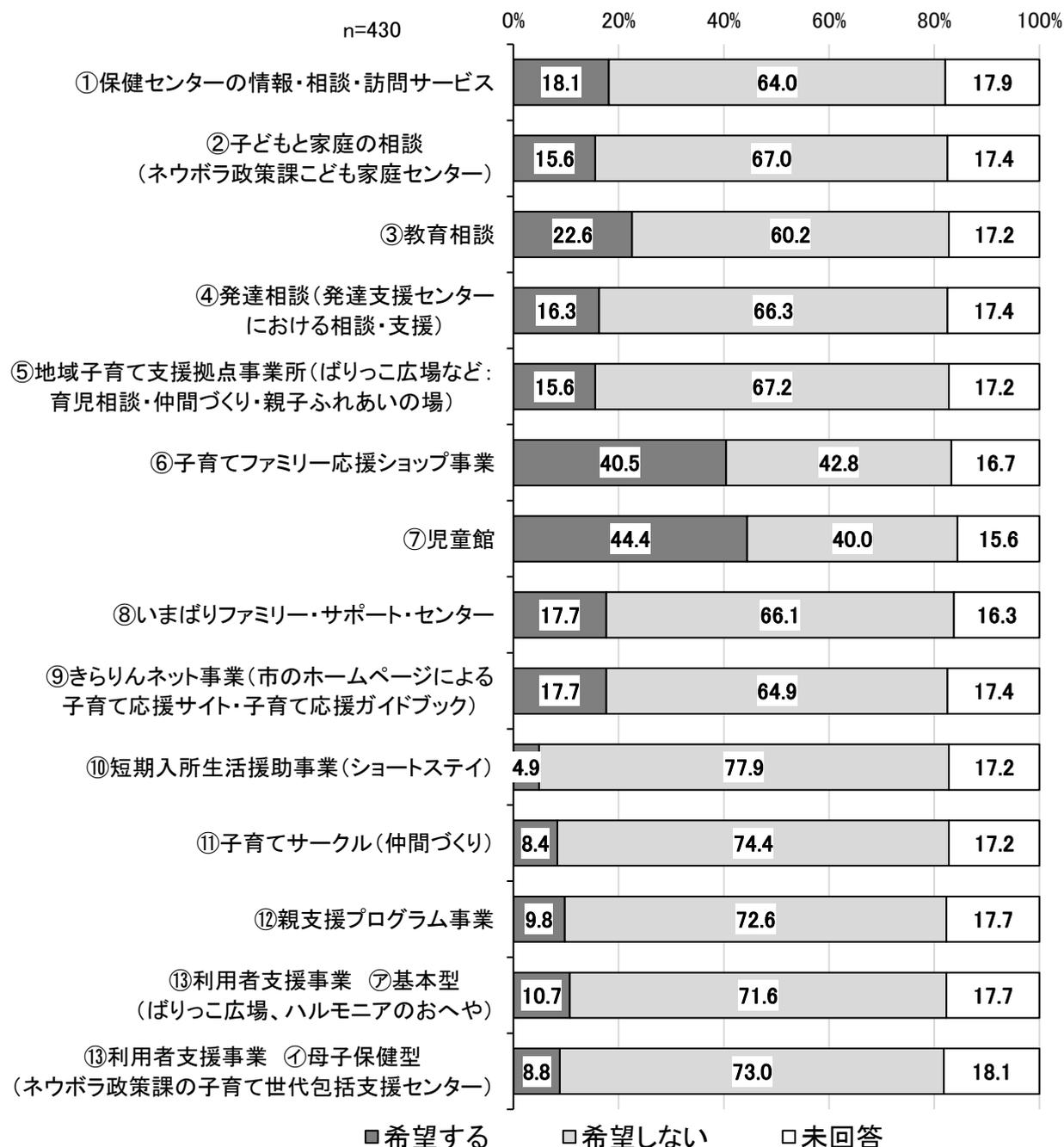
今治市で実施している子育て支援事業のこれまでの利用経験の有無は、上位から「⑦児童館」60.7%、「⑥子育てファミリー応援ショップ事業」45.8%、「⑧地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など：育児相談・仲間づくり・親子ふれあいの場）」39.8%となっています。

②今治市で実施している子育て支援事業の利用経験の有無



今治市で実施している子育て支援事業の今後の利用希望は、上位から「⑦児童館」44.4%、「⑥子育てファミリー応援ショップ事業」40.5%、「③教育相談」22.6%となっています。

③今治市で実施している子育て支援事業の今後の利用希望

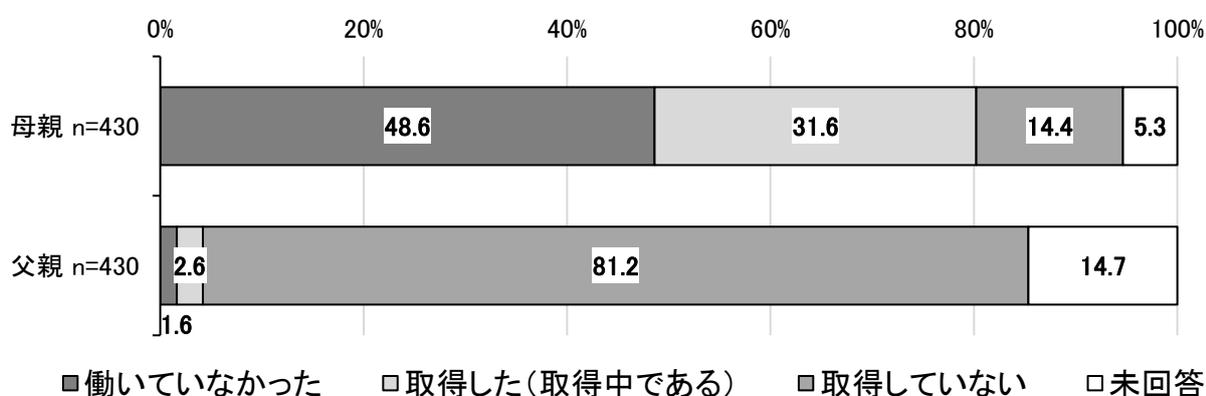


すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてお伺いします。

問20 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をご記入ください。（〇は1つ）

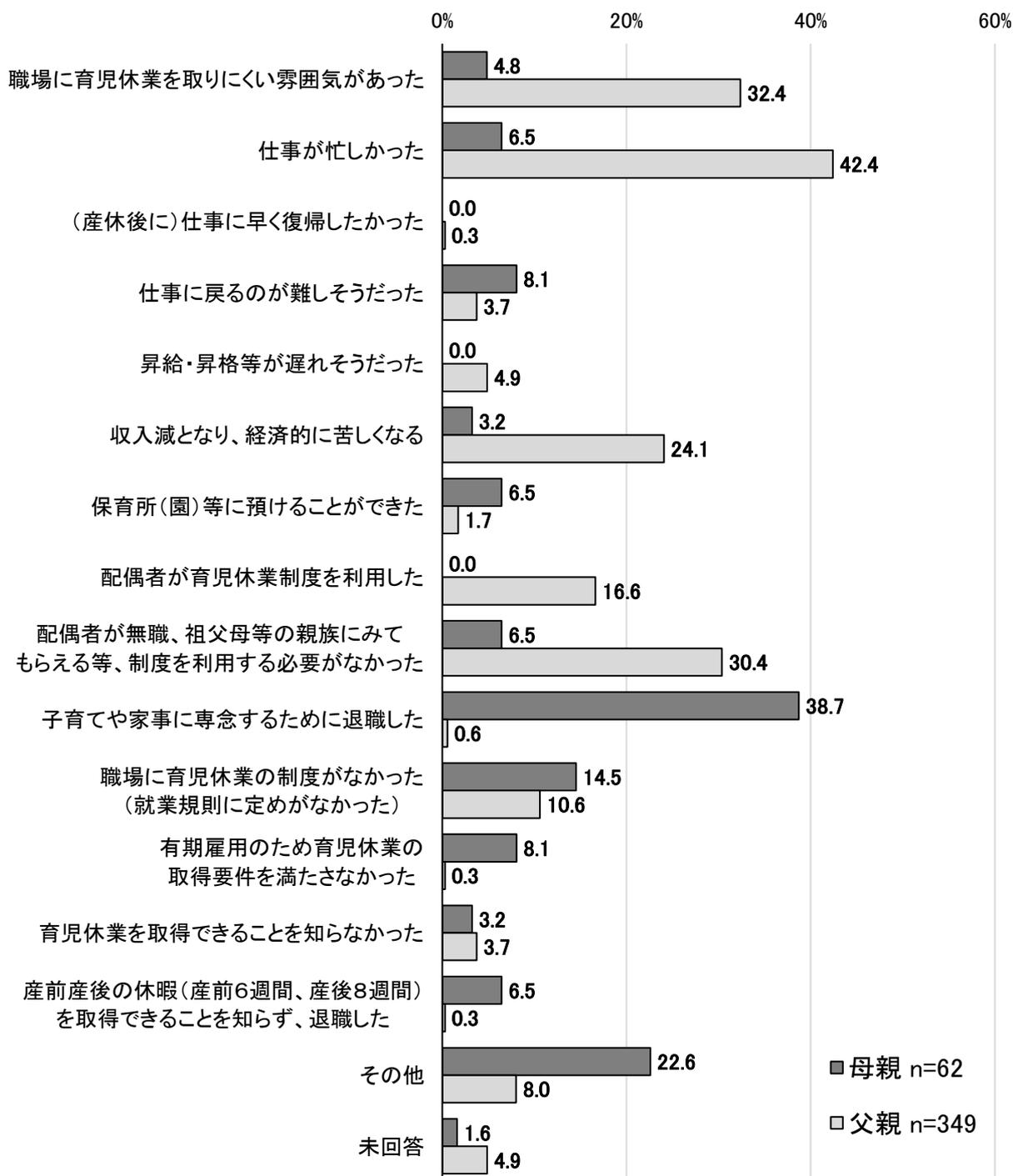
子どもが生まれた時の保護者の育児休暇取得状況は、母親「働いていなかった」の割合が48.6%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」31.6%、「取得していない」14.4%となっています。

父親の「取得していない」は、81.2%となっています。



育児休業を取得していない理由は、母親「子育てや家事に専念するために退職した」の割合が38.7%と最も高く、父親では、「仕事が忙しかった」が42.4%となっています。

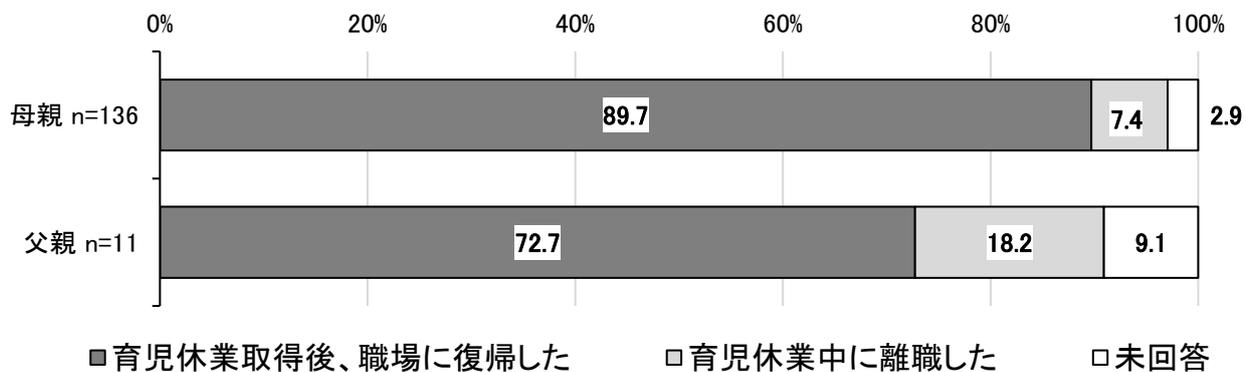
◎取得していない理由



問20-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(〇は1つ)

※問20で「取得した(取得中である)」と答えた方

育児休業取得後に職場への復帰は、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が89.7%、父親では72.7%と最も高くなっています。

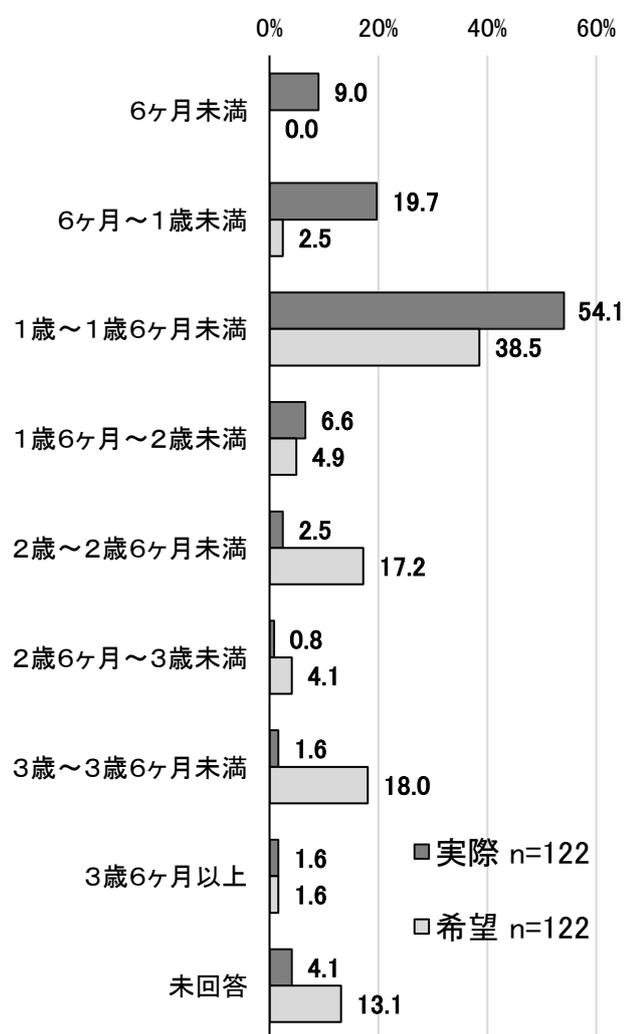


問20-2 育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

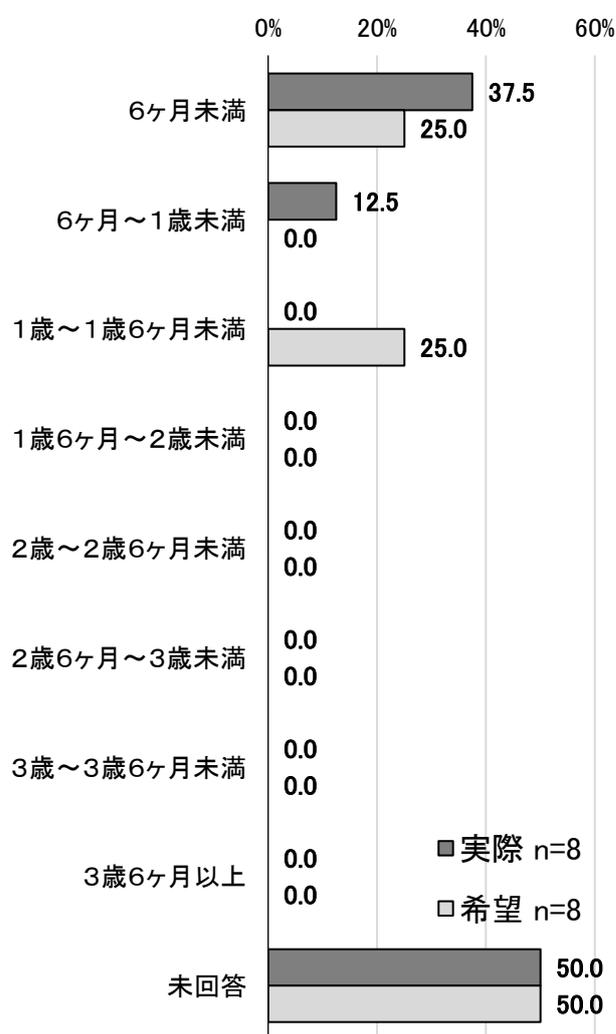
※問20-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

育児休業から実際に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかは、母親は、実際には「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が最も高くなっています。希望でも「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も高くなっていますが、「2歳～2歳6ヶ月未満」と「3歳～3歳6ヶ月未満」が1割を超えています。

・母親



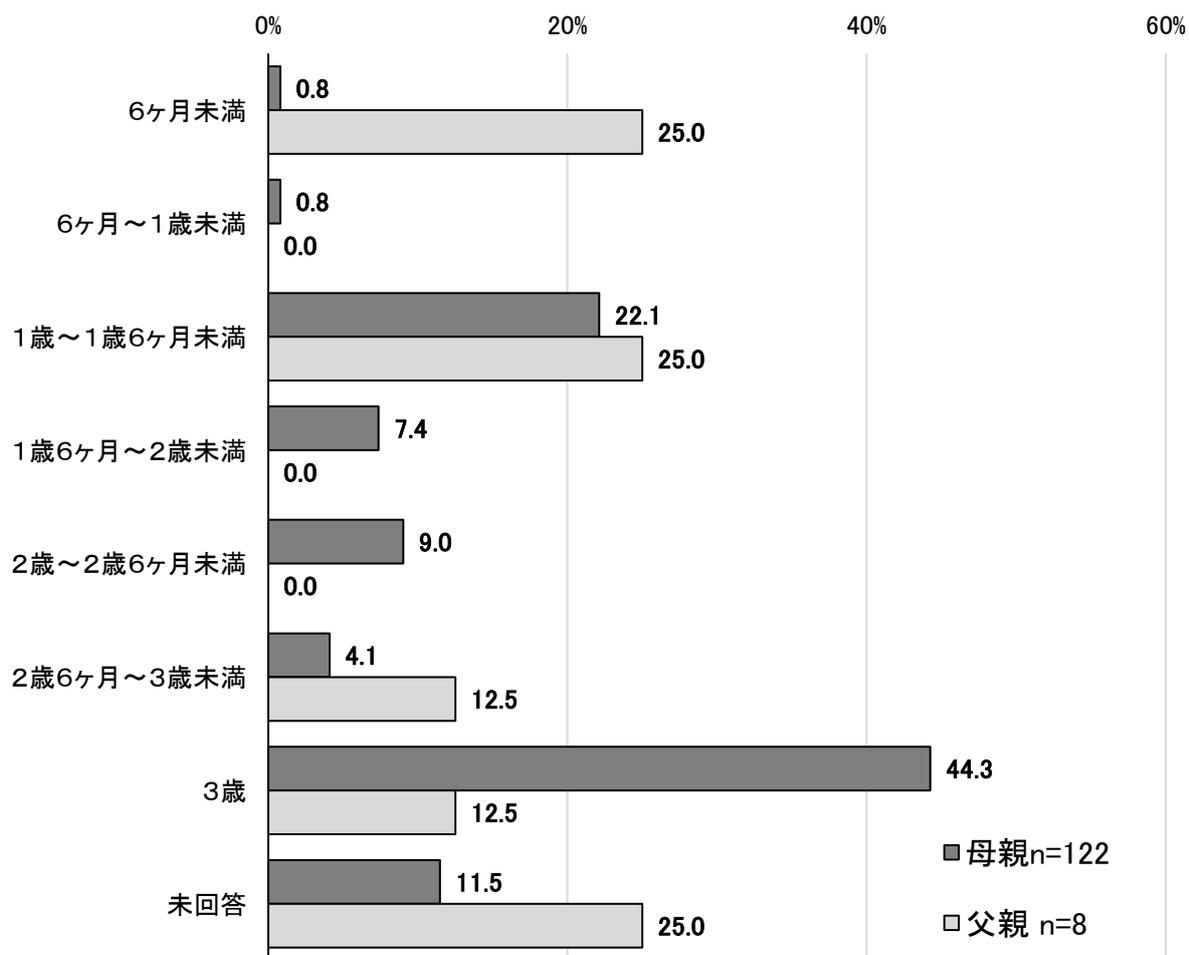
・父親



問20-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

※問20-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

3歳までの休暇が取得できる制度があった場合の希望は、母親では「3歳」の割合が44.3%と最も高く、父親では「6か月未満」と「1歳～1歳6ヶ月未満」がともに25.0%と最も高くなっています。

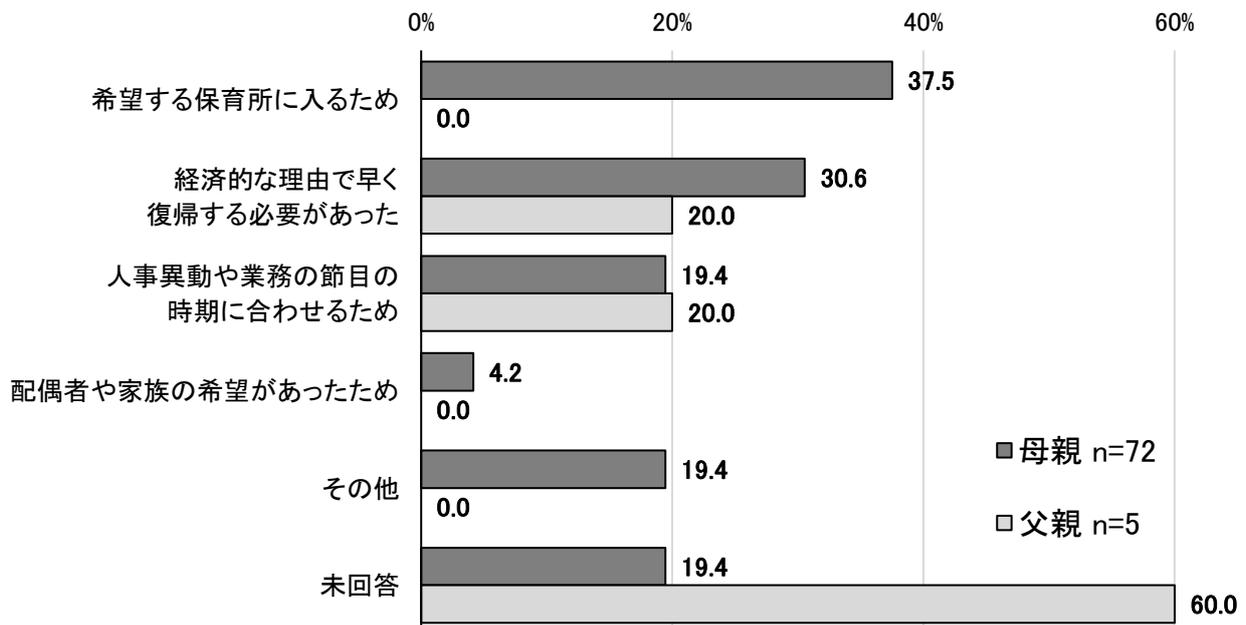


問20-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問20-2で実際の復帰と希望が異なる回答をした方

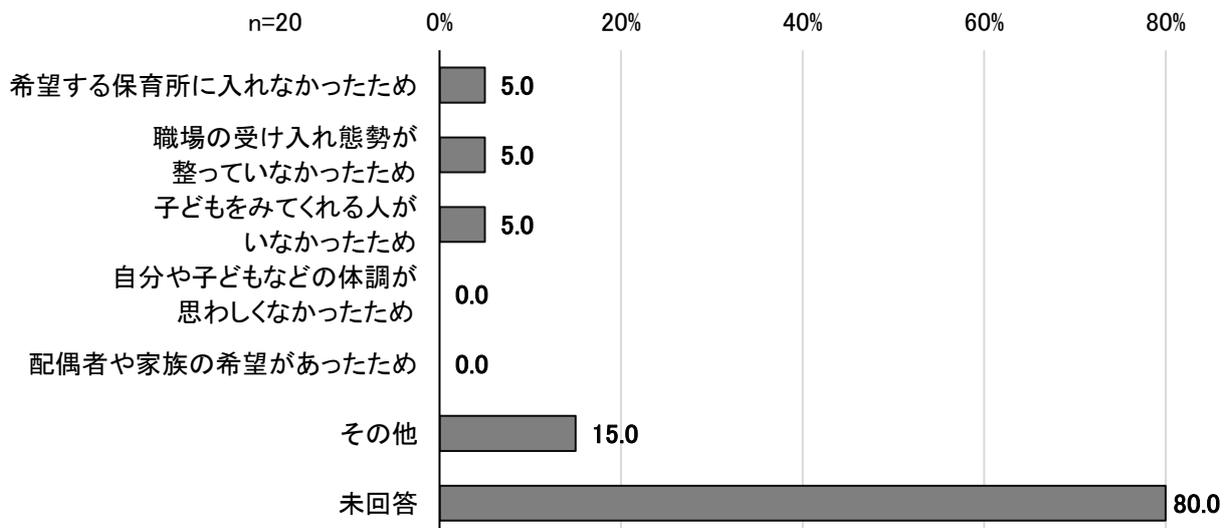
希望より早く復帰した方の理由は、母親では、「希望する保育所に入るため」の割合が37.5%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」30.6%となっています。希望より遅く復帰した方の理由は、母親では、「その他」が15.0%、「希望する保育所に入れなかったため」と「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」と「子どもをみてくれる人がいなかったため」がそれぞれ5.0%となっています。

① 「希望」より早く復帰した方



② 「希望」より遅く復帰した方

・母親



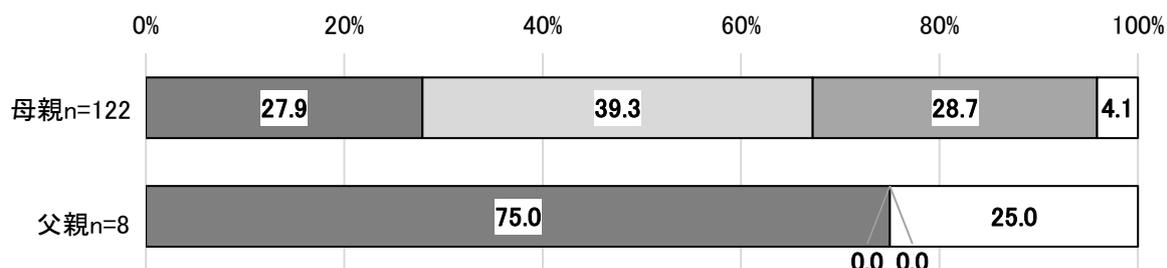
※父親の回答はありませんでした。

問20-5 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つ)

※問20-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

短時間勤務制度の利用は、母親では「利用した」の割合が39.3%と最も高く、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」27.9%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」28.7%となっています。

父親では、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が75.0%と最も高くなっています。



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 未回答

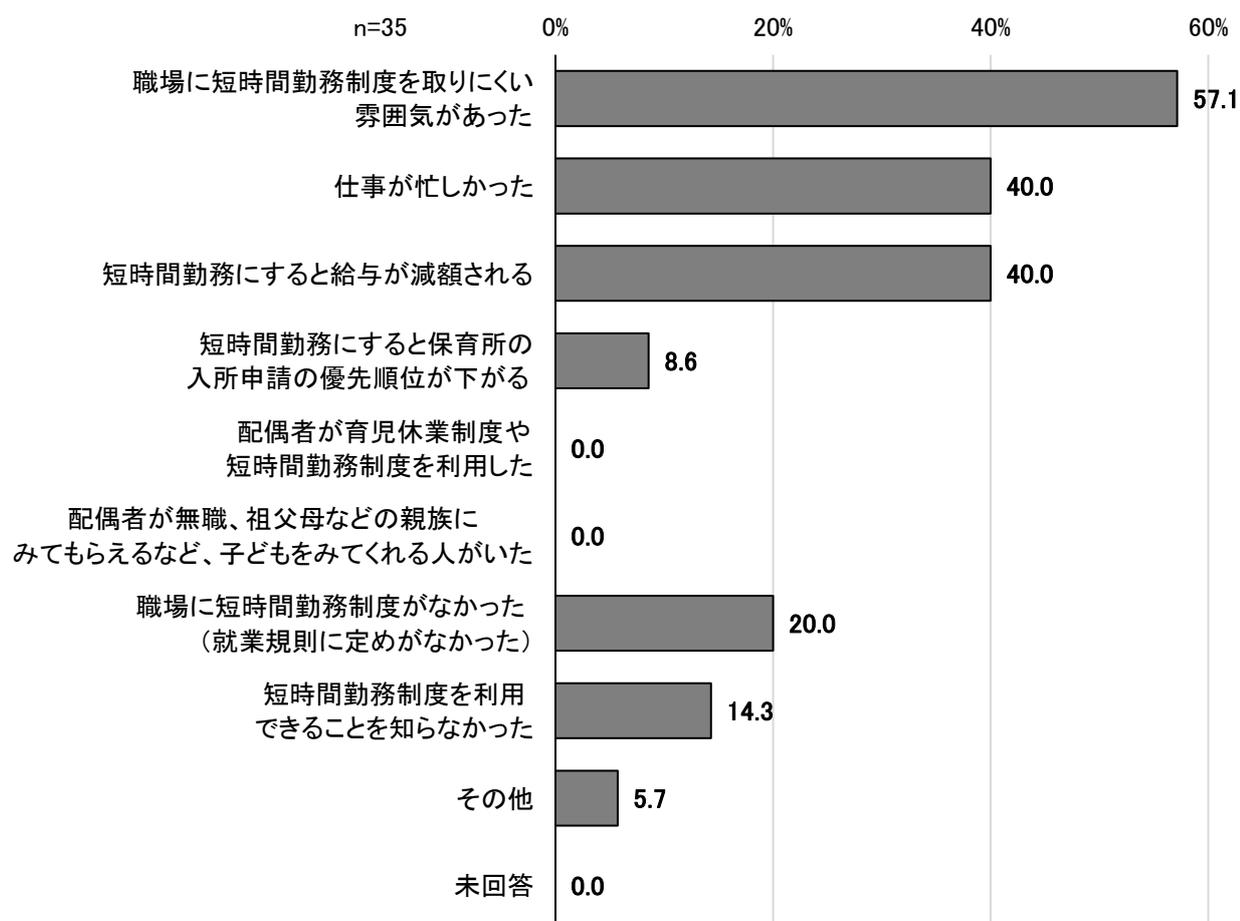
問20-6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

（〇はいくつでも）

※問20-5で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と答えた方

短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が57.1%と最も高く、次いで、「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに40.0%となっています。

・母親



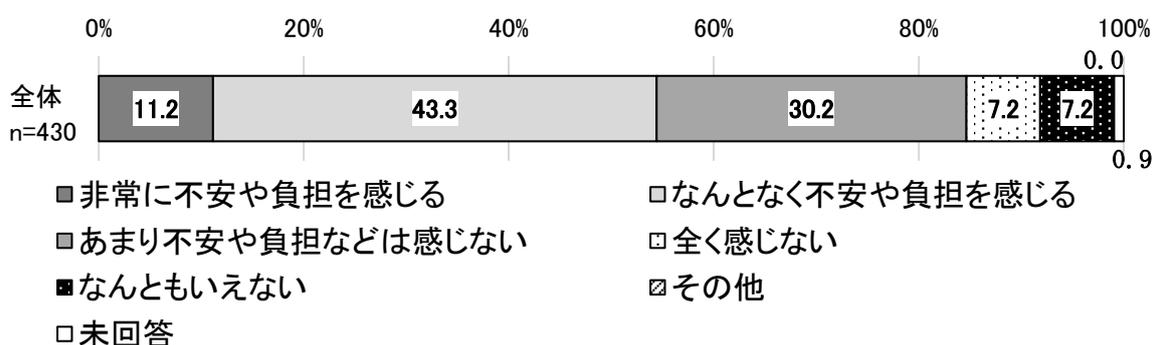
※父親の回答はありませんでした。

子育て全般についてお伺いします

問21 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。（〇は1つ）

子育てに関する不安や負担は、「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が43.3%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」30.2%となっています。

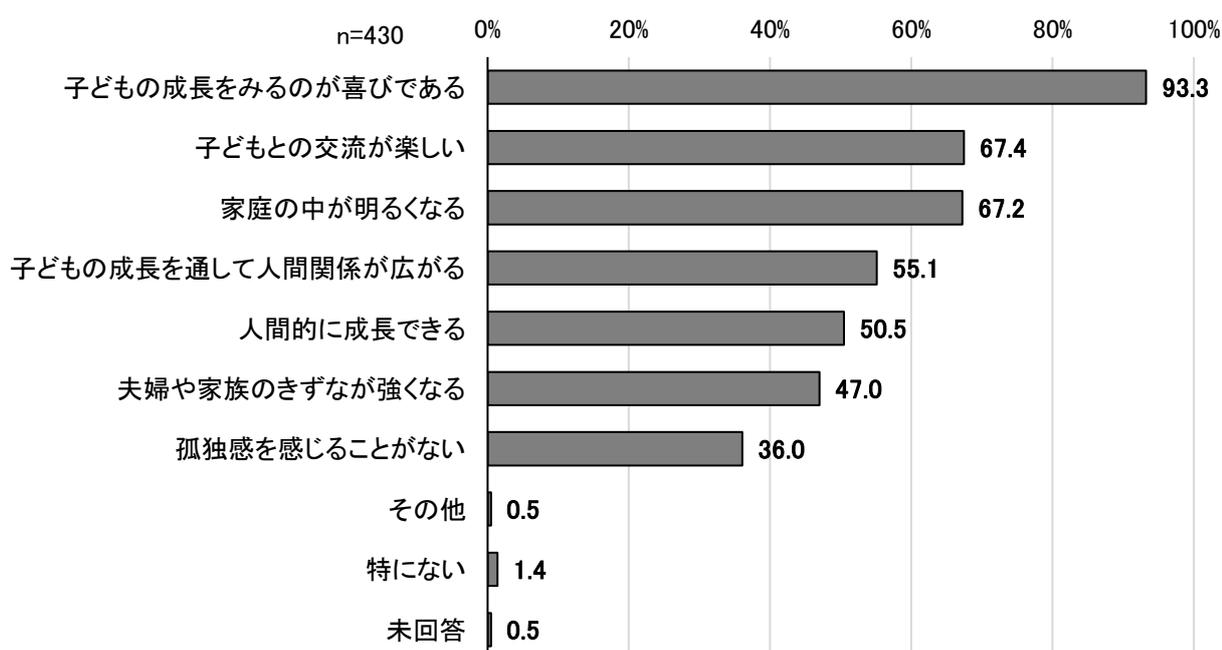
『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）は、54.5%と半数を超えています。



問22 あなたは、子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか。

（〇はいくつでも）

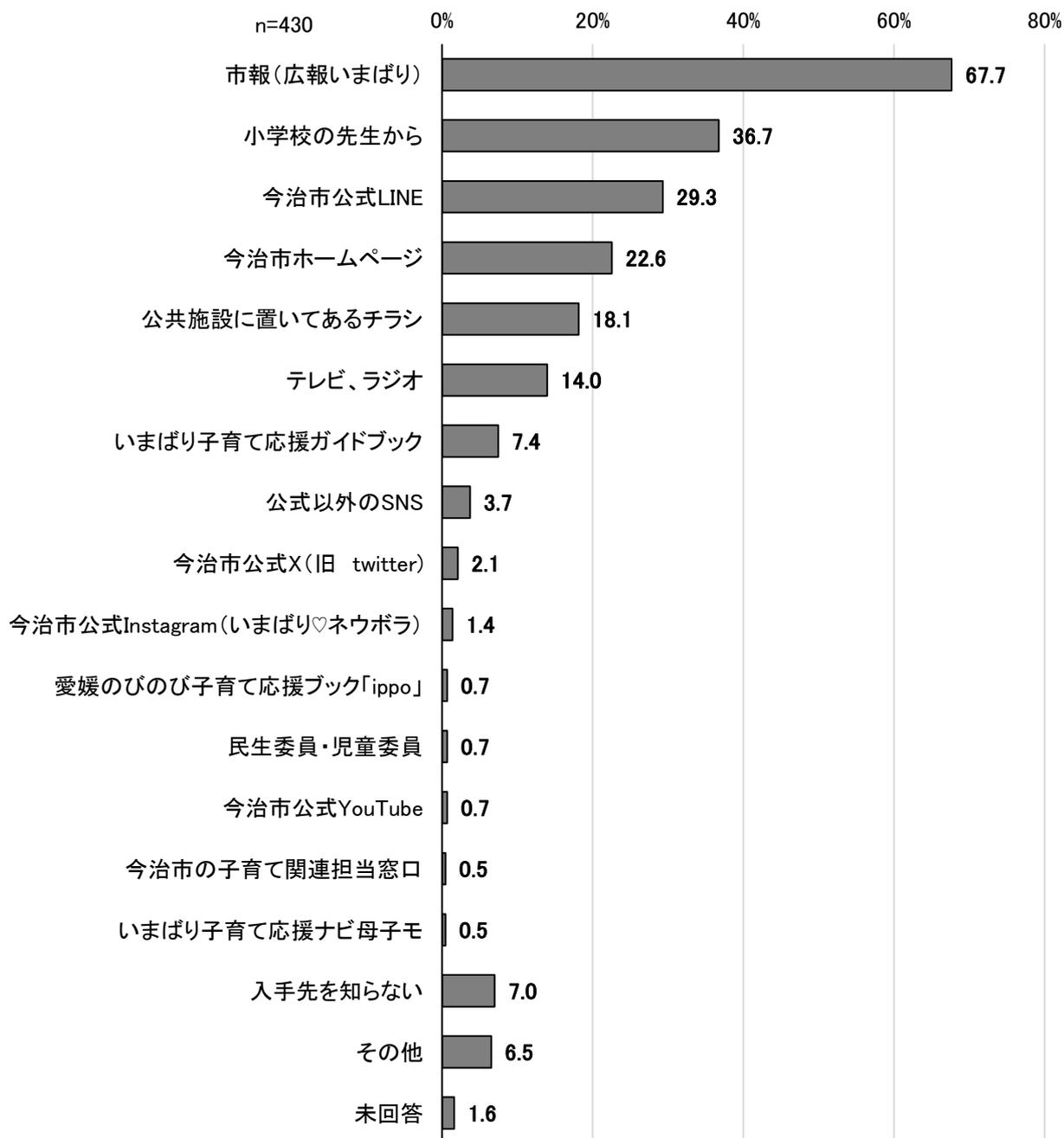
子育てをして良かったことや喜びを感じた経験は、「子どもの成長をみるのが喜びである」の割合が93.3%と最も高く、次いで「子どもとの交流が楽しい」67.4%、「家庭の中が明るくなる」67.2%となっています。



問23 あなたは、今治市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。

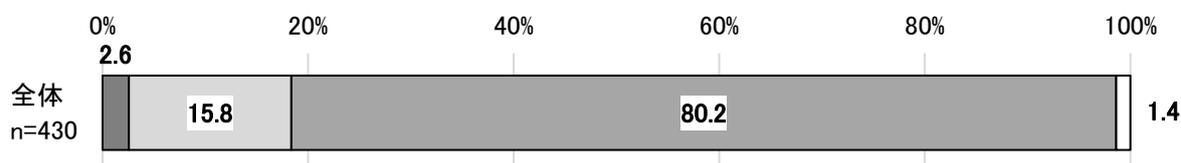
(〇はいくつでも)

子育てに関する情報の入手先は、「市報(広報いまばり)」の割合が67.7%と最も高く、次いで「小学校の先生から」36.7%、「今治市公式LINE」29.3%となっています。



問24 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。（〇は1つ）

自主的な活動への参加は、「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」の割合が80.2%と最も高くなっています。

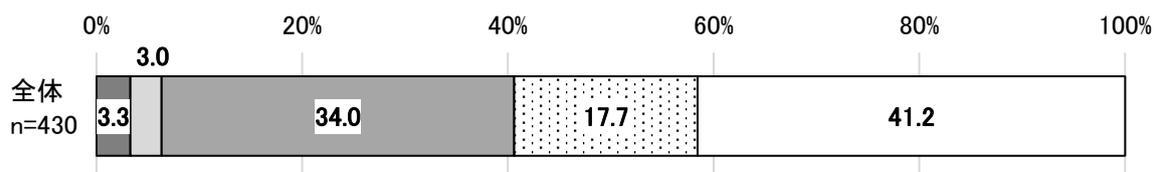


- 現在参加している
- 現在参加していないが今後機会があれば参加したい
- 現在参加しておらず今後も参加するつもりはない
- 未回答

問25 あなたは、今後、地域住民による子ども・子育て支援活動に携わってもよいと思いますか。（〇は1つ）

地域住民による子ども・子育て支援活動は、「携わってもよい」の割合が34.0%と最も高くなっており、『携わる』（「すでに携わっている」と「ぜひ携わりたい」と「携わってもよい」の合計）が40.3%と4割を超えています。

一方、「携わりたくない」は17.7%となっています。



- すでに携わっている
- ぜひ携わりたい
- 携わってもよい
- 携わりたくない
- わからない

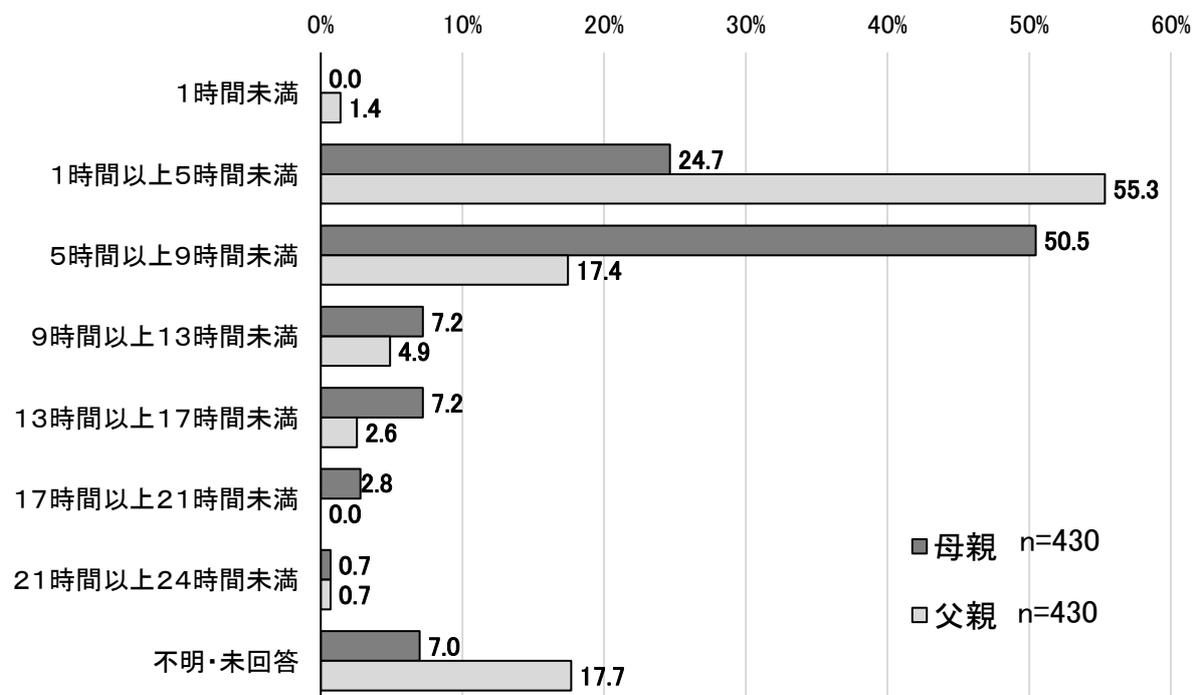
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします

問26 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。また、その時間は十分だと思いますか。（○は1つ）

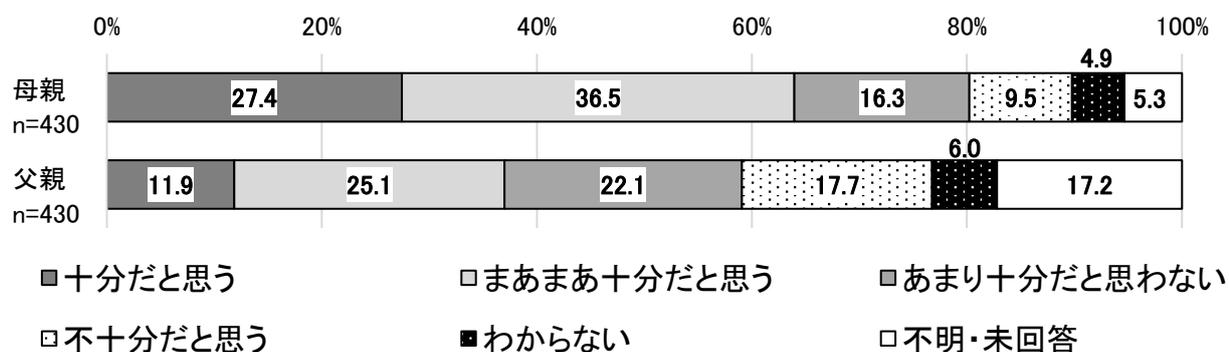
子どもと一緒に過ごす時間は、母親では、「5時間以上9時間未満」の割合が50.5%と最も高く、父親では「1時間以上5時間未満」が55.3%と最も高くなっています。

その時間を十分と思うかは、母親では、「まあまあ十分だと思う」が36.5%と最も高く、父親でも、「まあまあ十分だと思う」が25.1%と最も高くなっています。『十分だと思う』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）をみると、母親では63.9%、父親では37.0%となっています。

◎子どもと一緒に過ごす時間

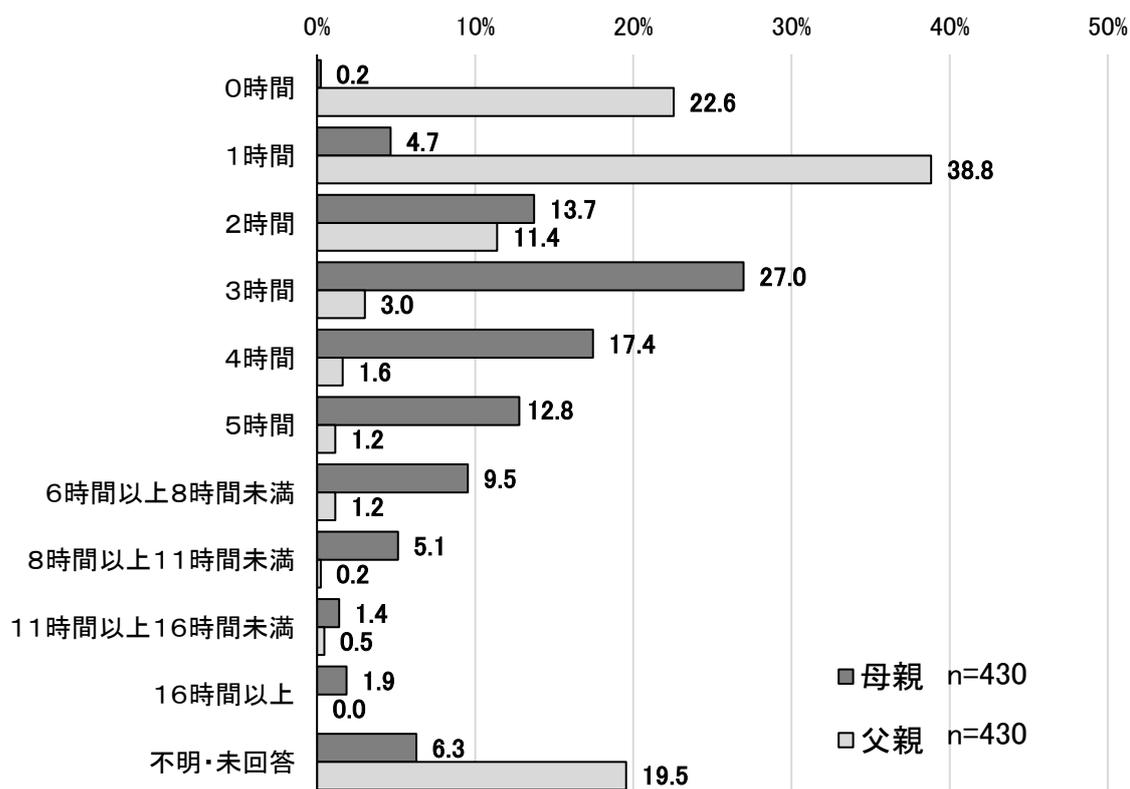


◎その時間は十分だと思うか



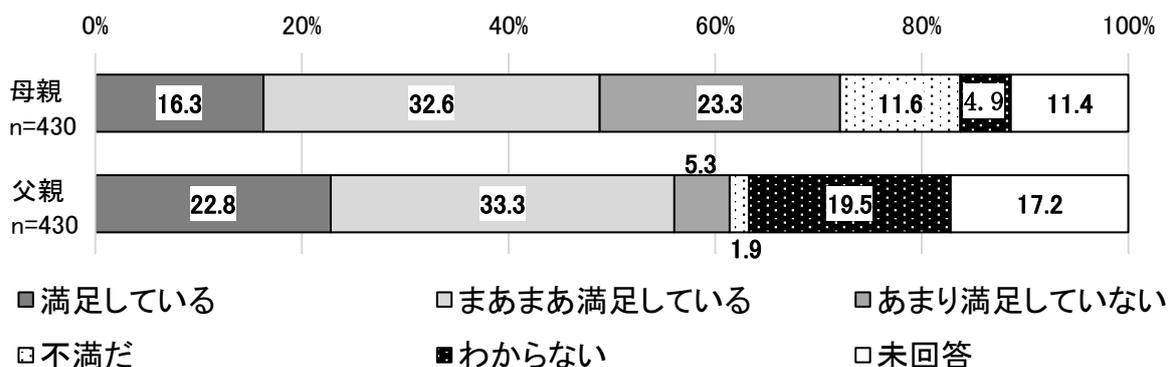
問27 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。(1週間の平均的な時間をお答えください。)

1日当たりの家事の時間は、母親では「3時間」の割合が27.0%と最も高く、次いで「4時間」17.4%となっています。父親では、「1時間」が38.8%と最も高く、次いで「0時間」22.6%となっています。



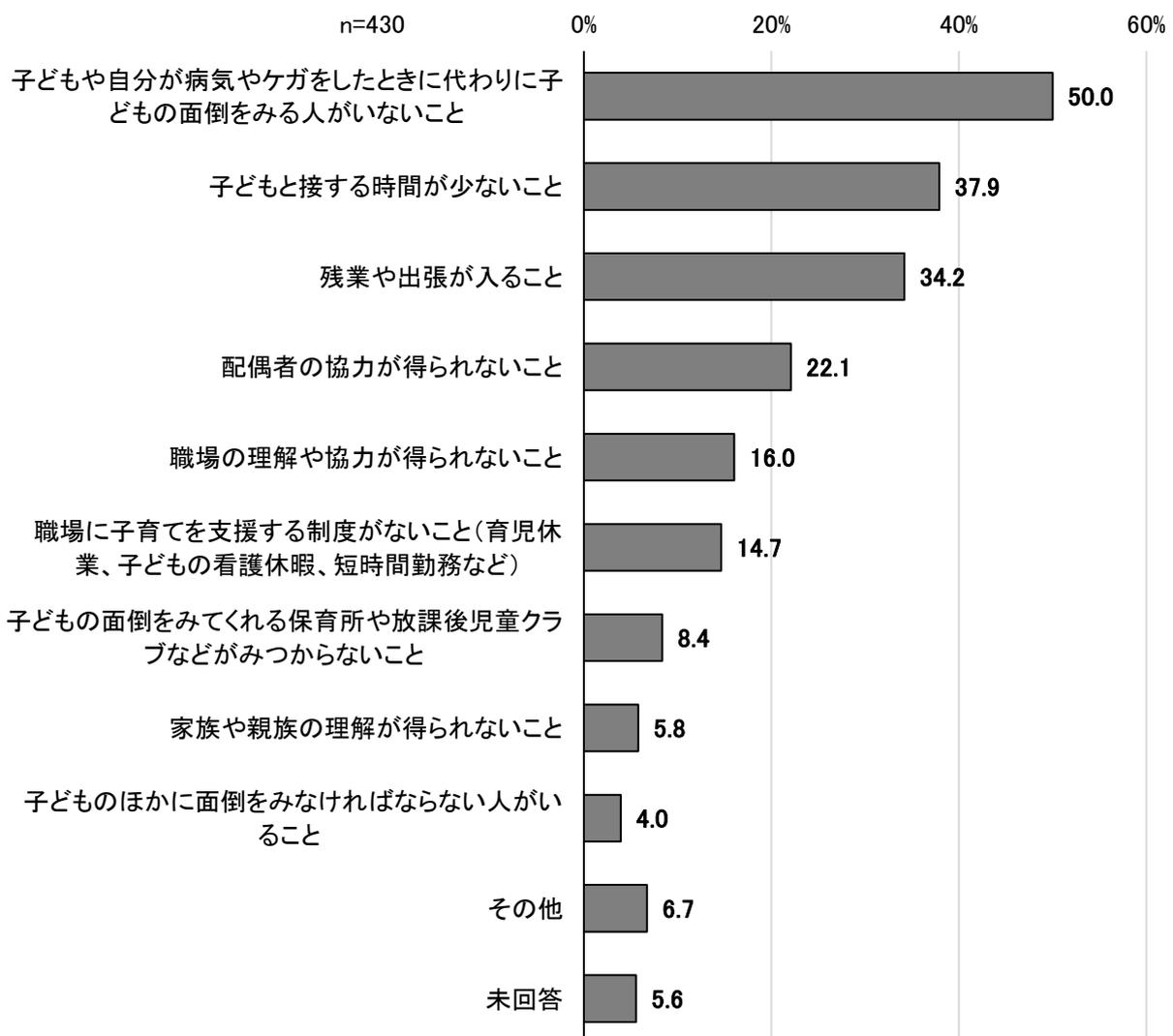
問28 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。(〇は1つ)

配偶者との家事、育児分担の満足度は、母親では、「まあまあ満足している」の割合が32.6%と最も高く、次いで「あまり満足していない」23.3%となっており、父親では「まあまあ満足している」が33.3%と最も高く、次いで「満足している」22.8%となっています。



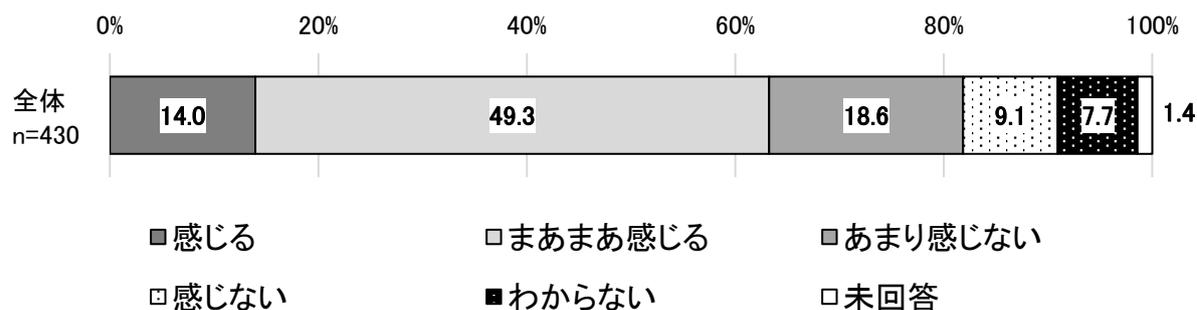
問29 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。
 現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。
 (〇はいくつでも)

仕事と子育ての両立で大変だと思うことは、「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が 37.9%、「残業や出張が入ること」が 34.2%となっています。



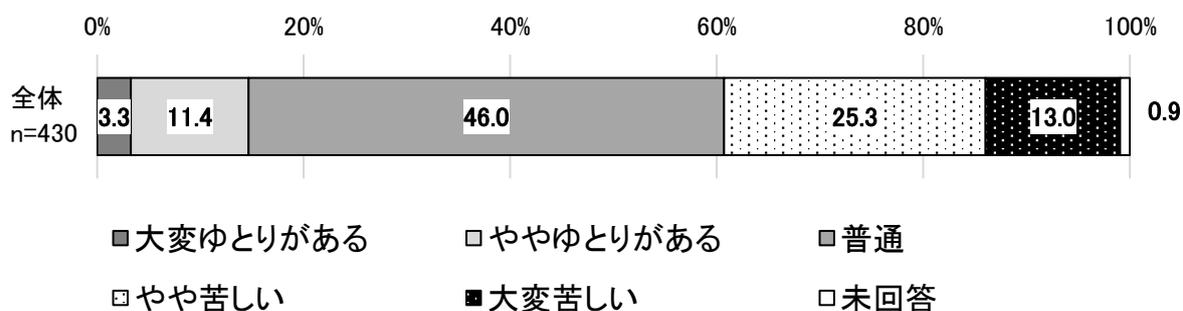
問30 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。（〇は1つ）

仕事と生活の調和が図られているかでは、「まあまあ感じる」の割合が49.3%と最も高くなっており、「まあまあ感じる」と「感じる」を合わせると63.3%となっています。一方、「あまり感じない」と「感じない」を合わせると27.7%となっています。



問31 現在の暮らしの状況を経済的な面でどのように感じていますか。（〇は1つ）

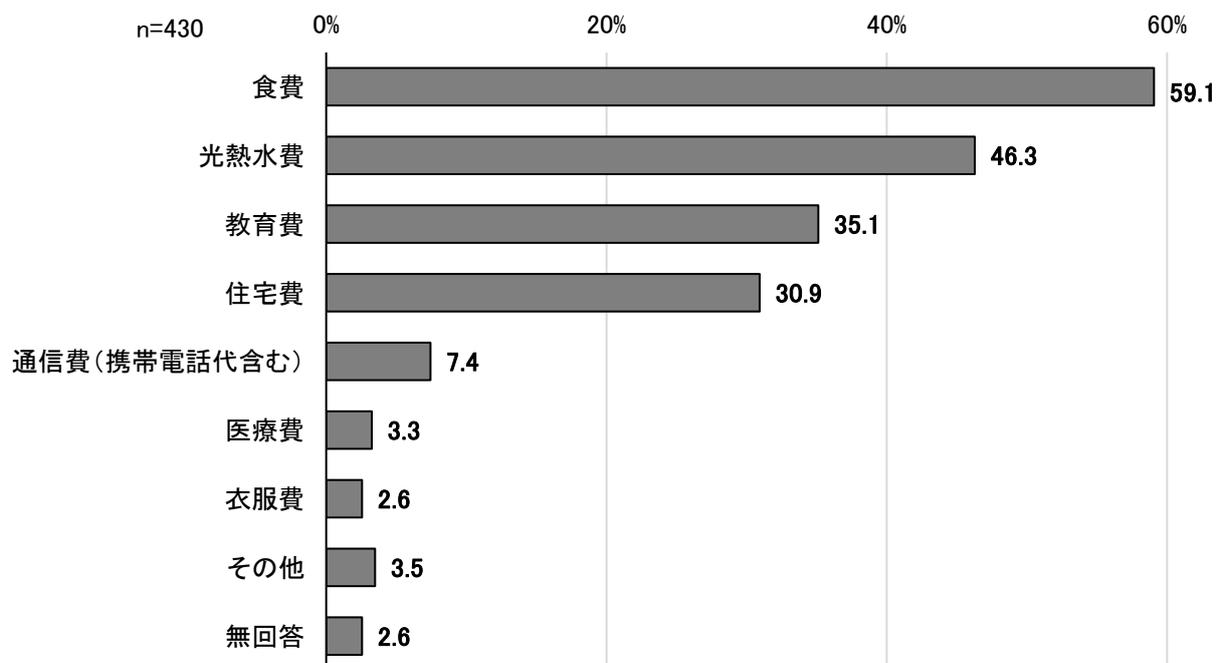
経済的な面での現在の暮らしは、「普通」の割合が46.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」25.3%となっています。「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせると、38.3%となっています。



問32 生活の中で負担に感じる費用はありますか。上位2つをお選びください。

(〇は2つまで)

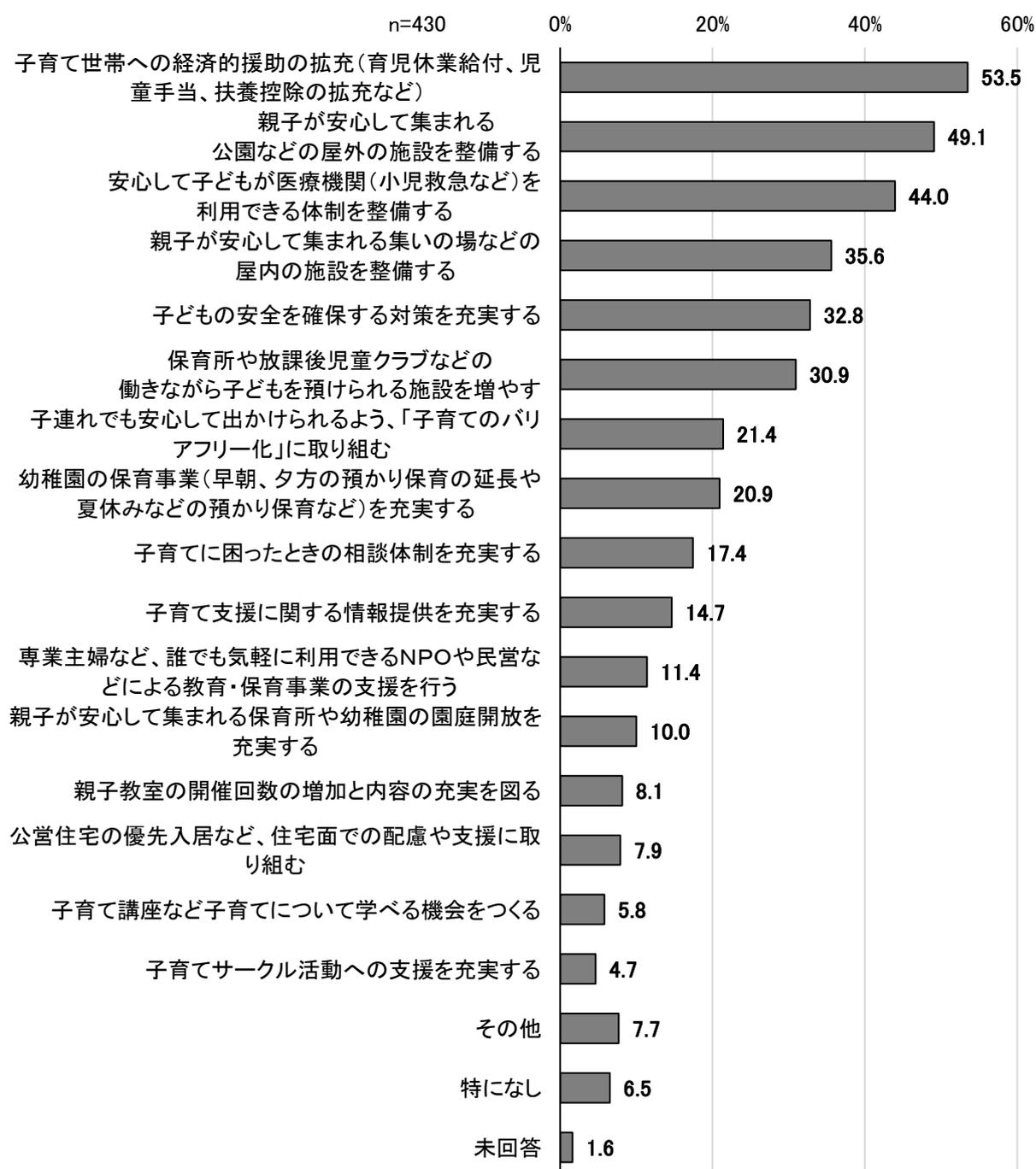
生活の中で負担に感じる費用は、「食費」の割合が59.1%と最も高く、次いで「光熱水費」が46.3%となっています。



行政への要望についてお伺いします

問33 行政に対して、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。（〇はいくつでも）

行政に対する支援策の充実の希望は、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など）」の割合が53.5%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」49.1%、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」44.0%となっています。



問34 今治市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

(○は1つ)

今治市における子育ての環境や支援への満足度は、「満足度 3」52.3%の割合が最も高く、『満足している』（「4」と「5」の合計）は24.4%、『満足していない』（「1」と「2」の合計）21.0%となっています。

